

# 人文会 ニュース

代表幹事の抱負

「人文会特約店」の選定を終わって

「人文会特約店」発表

四季報委員会より

本屋の「当惑」について

〈書店の仕事〉について

これからの書籍販売について

新刊目録

'75年版人文図書総目録刊行御案内

'74.12

6

●第一回 大佛次郎賞受賞

# 蘆花 徳富健次郎

●全3部

## 中野好夫

「不如帰」「思い出の記」「自然と人生」等によって一世を風靡した作家の真実の人間像。蘇峰・蘆花兄弟の相剋を軸に描く伝記文学。

①②1700円 ③1900円

筑摩書房 東京神田小川町

## 誠信書房

東京都文京区大塚3の20の6

# 心理・教育のための FORTRAN

難波精一郎・吉田光雄編著

文科系学徒がコンピュータを積極的に利用できるように、意義・目的・使用法を懇切かつ平明に指導詳述した入門書でFORTRANの基礎知識をだれにもわかりやすく解説し、さらに心理教育の分野でよく使用されるデータ処理法についてプログラムライブラリーを提供している。

A5判上製 定価八〇〇〇円

## 現代社会科学叢書

既刊27点 / 目録呈

### 第五の壁テレビ

リンクス 山本透訳 800

### 幻影の時代

ブリアライオン 後藤他訳 850

### マス・自由に関する四理論

内川芳美訳 600

新版 マス・ミニニケーション シュラム編 1,000

近刊 精神分析の危機 フロム 岡部慶三訳

東京新宿新小川町 東京創元社

学際的研究により

古代日本の復原をめざすシリーズ

## 日本古代文化の探究

全10冊

2冊同時発売

四六判・二二〇〇円

### 馬

森浩一編

古代史の謎を解く重要なカギである「馬」にスポットをあて、古代における馬と文化の周辺をあらう。

### 鉄

森浩一編

鋼文化の陰になりあまう脚光をあびることのなかつた「鉄」をとりあげ、問題提起を試みる。

東京都文京区本郷1-25-21

社会思想社

農村文書解読のバイブル

# 古島敏雄著作集

- 1 徭役労働制の崩壊過程 ￥三〇〇〇
- 2 日本封建農業史 ￥三〇〇〇
- 3 家族形態と農業の発達 ￥三〇〇〇
- 4 近世日本農業の構造 ￥三〇〇〇
- 5 信州中馬の研究 ￥三〇〇〇
- 6 日本農業技術史 ￥四〇〇〇

内容見本送呈

東京大学出版会

## マルク・オレゾン

—— 注目の3著 ——

### 現代人のモラル

伝統的宗教倫理に代る今日のモラルを示唆。伊藤 晃訳 / 八〇〇円

### 死とその後

現代科学と啓示との画面から考察。伊藤 晃・支倉寿子訳 / 八〇〇円

### 性の神秘

性の本源的な意味と重要性を解明。伊藤 晃・竹田 宏訳 / 八〇〇円

101 東京外神田2の18の6 振替・東京二四八六一

春秋社

## 代表幹事の抱負

人文会代表幹事 中平千三郎

地方正味の格差がようやく撤廃された。これまで都内と地方の正味差があったのが、日本中どこでも取次店から書店への送品正味が同率となるということである。もともと地方正味の格差は運賃込み正味制の適用にあたっての都内と地方のひずみが原因であるにもかかわらず、約束ごととはいいながら今回も出版社のほぼ一方的な負担において格差が撤廃されたのであり、運賃の格差が事実としてある以上は、如何に出版社が原資を負担したとしても、地方書店に必要な図書が送本されにくくなるだろうという一部論者の意見は、必ずしも杞憂であるとはいいきれない。

書協と取協の間で原資負担の方法をめぐる問題となったのは、売上に対する歩戻しか、送品に対する手数料かということであった。ここでその適否を論評することは差控えるが、送品あつての売上ということは否定出来ない。書店における売上げは送品の如何によって規定される。すでに総売上の半ば以上が注文品によって占められている事實は、最終購買者すなわち読者の意志によって売上の内容が決定されているということである。もとより注文品の内訳は、いわゆる客註ばかりでなく、売れた商品の補充注文と、見込み注文からなり立っている。これらの割合は必ずしも確定していないが商品構成の如何に左右され、書店の自主仕入が要請されている。制限あるスペースを有効に活用するために如何なる商品構成をなすべきであるか、そのためには立地条件と読者層の把握が第一であり、更には読者の開発と組織が期待されねばならない。

一般に書籍は特定単品だけでは販売力が弱い。豊富な関係商品があり、しかも十分に吟味された銘柄商品の中において販売力は著しく上昇する。人文図書の場合は、その隣接する範囲のひろさからいっても適正な品揃が最も難しい。この観点を打開するために、われわれ人文会は結成以来一貫して優良特選図書の展示会をつづけ、更にすすんで人文会の特約店を創設しようとしている。

特約店という考え方は製造業者が製品の取扱を有利な取引条件によって特定した販売業者に限ることであるが、書籍は再販商品であり共販商品でもあるため、単に特別契約というほどの意味になる。特別の条件を付した約束、特別の

便宜または利益のある契約を結ぶことになる。先般来通産省の指導によって出版物販売の標準取引契約というものが検討されたが、現在の取引状態を反映していればゆるやかなとりきめになっている。契約という観念が次第にはっきりすることによって権利と義務があきらかになり、責任販売制の実現も可能になるだろう。ここにおける特約店制は、通常取引を拒否するのではなく、より深みのあるよりうま味のある取引をしようとするものである。

人文会特約店の条件としては別記のようにいろいろな要件がかかげられている。それぞれに意味も問題もあるのだが、一番問題になるのは12社以上の常備寄託を条件としていることだろう。人文会は当初15社からはじまって現在19社になっている。本来ならば人文会の特約店という以上は全19社の常備が好ましいのだが、各社の常備状態を調査すると全社常備という書店は数えるほどしかない。同じ人文図書を対象として、こんなに差異があるということを改めて認識しなければならなかった。そこで12社以上の常備出品店を当初の特約店候補として選出することになった。特約店というのは排他集中の意味があるので、お互いのメリットを認め納得づくで契約する。その効果を持続し拡大して行かねば価値がない。12社と限ったのは一つは現在の実態調査からの判断と、せめて3分の2程度の版元の結集が好ましいということである。将来、未出品の特約店については、出版社も書店も相互に働きかけあって次第に実数を充実して行きたいと思っている。会員各社の特約店は必ずしも人文会の特約店になることはないが、人文会の特約店はなるべく各社の特約店になることが望ましい。その意味において人文会の特約店はより強く集中的なものといえる。

ここしばらくの人文会の活動目標は人文会特約店の実現に示ぼられている。特約店委員会のもとより、広報委員会、四季報委員会、販売委員会とも焦点をそこにおいている。昭和49年度人文会役員の改選にあたって心ある書店各位のご協力を重ねてお願い申し上げる次第であります。

役員の改選にあたって 昭和49年度人文会

## 「人文会特約店」の選定を終わって

### 特約店委員会

「人文会ニュース」5号にて申し述べました通り、「人文会特約店」制度を11月1日に発足させました。

人文会と人文会特約店の相互にとりかわしました「覚書」は、双方の権利・義務を明確にしたもので、今後、両者ともそれを実施し、この制度を実効あるよう守り立ててゆきたいと存じております。

前号に申しました通り、特約店の選定の基準は下記の通りでございます。

- (1) 会員19社中の12社以上と常備寄託契約をし、
- (2) 会員社の人文図書を1000冊以上展示し、
- (3) 会員社の人文図書を年間3000冊以上販売されている。

と考えられる書店を選ばさせて頂きました。

この理由は、読者に「人文会特約店」として公表する以上、ある程度、読者に満足感を与えねばなりません。その一応の基準として上記の条件を設けた次第でございます。選定に洩れた書店もございましょうが、来年度条件にあわせて頂けますならば、ご推薦申しあげたいと存じております。

新聞之新聞紙上に、工学書協会特約店に次ぐ二番目の特約店制度と発表されたためか、この選定にもれた場合は各社の常備寄託を預かれないのではないかと危惧をお持ちになった書店もあるようでございます。しかし「人文会ニュース」にて再三申しあげている通り、各社の常備は各社が判断の上、決めることで、人文会として各社を制約するつもりは毛頭ございません。

しかしながら特約店に対しては、年三回転以上するように、品目選定・常備店選定を会員各社にお願いしているため、従来よりも常備店選定が厳しくなると存じます。まして常備品運賃負担をどこがするかという問題もございます。この意味では特約店でなくとも、常備を預っている出版社に対しては、書店が売上カードを送るよう態勢を整えておかないと常備を欲しくとも送って貰えない危険がございます。今後とも売上カードの送付についてはご留意頂きたいと存じます。

一方、この位の書店のメリットでは特約店に選ばれても有難くない、覚書に

も「原則として」という字句が多すぎて出版社に対する拘束力がないではないかというご意見でございます。

誠にもっともだと存じます。委員会としてもなるべく早い時期に、この「原則として」の字句をとりたいと存じておりますが、会員社個々の事情がからみ、すぐこの字句をとることは不可能だったのでございます。

しかし制度が発足すれば、会員各社は、この覚書にしばられます。したがって早い時期に目標を達成出来ると存じている次第で、今しばらく時間を貸して頂きたいと存じます。

今回の書店側の最大のメリットは、人文会が人文会特約店を読者に公表・PRし、読者を特約店に集め、よって特約店の商品回転を良くしようとする事ではないでしょうか。従来、各社では常備店を公表し、読者の便宜を計ってまいりましたが、今後はより一層、強力なPRによって「人文会特約店」を守り立てようとしているのでございます。

今後の人文会の活動を暖かい目で見守って頂きたいと存じます。

## 覚 書

人文会（以下甲とする）と人文会特約店（以下乙とする）は、甲の発行する人文図書の販売について左記の覚書をとりかわす。

### 記

1. 甲は乙に対し甲の発行する人文図書の新刊（重版）を優先的に委託配本をする。但し買切品限定版については別とする。乙は委託配本された新刊（重版）を委託期間中、原則として全期間展示する。  
配本部数決定については、乙の申込による方法を原則とする。
2. 乙は甲のうち12社以上と個々に常備寄託契約を締結する。甲は乙の常備寄託の申込みを優先して扱う。
3. 乙は甲の発行する人文図書を常時1000点以上展示する。甲はその発行図書のうち、人文図書のみの常備寄託の出品を可能にする。
4. 乙は甲の発行する人文図書を、年間3000冊以上販売することを基準とし、甲は乙に対し出品する常備セットについて、年3回転するよう品目選定に留意する。
5. 甲は乙に対し甲の売行良好書を機に応じ連絡し、乙はそれによって、在庫の整備を行う。
6. 乙は甲に対し「売上カード」を定期的（毎月又は隔月）に各出版社へ送付する。甲は乙に可能なかぎり、その分析をして報告する。
7. 甲は乙より送付された「売上カード」に基づき販売協力金（手数料）を支払うことを原則とする。
8. 甲は人文会四季報・人文図書総目録・加盟出版社の図書目録などに、乙の書店名を記載し、読者に対しその所在をPRする。
9. この覚書は1974年11月1日より2ケ年間有効とし、期間満了の際は、乙の実績に基づき甲乙双方の合意によって更改する。

昭和49年10月 日

東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学出版会内

甲 人 文 会

青木書店・紀伊國屋書店・勁草書房・現代  
思潮社・誠信書房・社会思想社・春秋社・  
筑摩書房・東京創元社・東京大学出版会・  
日本評論社・福村出版・平凡社・法政大学  
出版局・みすず書房・未来社・有斐閣・吉  
川弘文館・理想社

乙

人文会特約店 \*印は未回答店 現在11.30

東京都

千代田区	紀伊國屋 三省堂神田店 巖松堂 茗溪堂 法政大学生協	書泉グランデ 三省堂アネックス 丸善お茶ノ水店 中央大学生協	書泉ブックマート 東京堂 ウニタ書舗 明治大学生協
中央区	丸善 教文館	旭屋書店	近藤書店
港区	慶応大学生協	虎ノ門書房	
台東区	明正堂中通店		
文京区	東京大学生協		
墨田区	錦糸町栄松堂		
大田区*	蒲田栄松堂		
渋谷区	大盛堂 渋谷書店	紀伊國屋 青山学院購買部	三省堂
目黒区	自由ヶ丘三省堂 東京大学生協	八雲堂	恭文堂
世田谷区	経堂キリン堂	近藤書店	
新宿区	紀伊國屋 高田馬場芳林堂 早稲田大学本校	西口三省堂 *敬文堂	高田馬場三省堂 多磨書店
中野区	明屋書店		
豊島区	芳林堂 新栄堂	旭屋書店 立教大学事業部	三省堂
武蔵野市	弘栄堂 *光陽館	東京堂	紀伊國屋
三鷹市	第九書房		
小金井市	久南口店		
国立市	東西書店		
立川市	オリオン書房		

八王子市 くまざわ駅前店  
 町田市 久美堂本店  
 川崎市 \* ソーブン堂  
 横浜市 西口有隣堂  
 関内キディランド  
 厚木市 有隣堂  
 藤沢市 有隣堂  
 平塚市 \* 東海大学協助会  
 市川市 弘栄堂  
 船橋市 弘栄堂  
 柏市 \* プラザ浅野  
 千葉市 キディランド  
 水戸市 鶴屋書店  
 宇都宮市 落合オリオン店  
 浦和市 須原屋  
 前橋市 \* 煥乎堂  
 松本市 \* 遠兵  
 沼津市 マルサン書店  
 静岡市 吉見書店  
 浜松市 浜松谷島屋  
 豊橋市 精文館  
 名古屋市 メルサ鎌倉  
 さくさ正文館  
 岐阜市 \* 自由書房  
 四日市市 白揚  
 大阪市 紀伊國屋  
 \* 阪急デパート  
 旭屋アベノ店  
 吹田市 関西大学生協  
 東大阪市 ヒバリヤ  
 京都市 山崎宝文堂  
 \* 立命館大学広小路  
 駈々堂京宝店

文学堂本店  
 ジョイナス栄松堂  
 神奈川大学生協  
 江崎向ヶ丘店  
 有隣堂本店  
 慶応大学日吉

三省堂

プラザ多田屋

静岡谷島屋 江崎書店

丸善 谷口正文館  
 名古屋大学南部  
 大衆書房

旭屋本店 旭屋駅前店  
 \* 京橋駈々堂 ユーゴー書店  
 青泉社

アオキ書店 同志社大学生協  
 山本聖文堂 \* 立命館大学衣笠  
 オーム社書店 丸善

京 都 市	中京ふたば書房 ナカニシヤ * 竜谷大学生協	京 都 書 院 葵 書 房	京都書院イシズミ店 京都大学生協
奈 良 市	南 都 書 林		
和 歌 山 市	平 安 堂 本 店		
神 戸 市	* コーベブックス 丸 善 * 六 甲 南 天 荘	流 泉 書 房 海 文 堂 ユーカリ南天荘	日 東 館 神戸大学生協
西 宮 市	関西学院生協		
姫 路 市	誠 心 堂		
松 江 市	千 鳥 書 店		
岡 山 市	* 紀 伊 國 屋	丸 善	細 謹 舎 本 店
広 島 市	丸 善 広文館本通店	金 正 堂 平 和 書 房	* 広 島 積 善 館
山 口 市	* 文 栄 堂		
高 松 市	宮 脇 書 店		
松 山 市	丸 三 書 店		
北 九 州 市	ナガリ書店	金 栄 堂	
福 岡 市	リーブル天神 九州大学文系店	金 文 堂	積 文 館
久 留 算 市	たがみ書店		
長 崎 市	好 文 堂		
熊 本 市	金 竜 堂	ま る ぶ ん	長 崎 書 店
大 分 市	本 町 晃 星 堂		
鹿 児 島 市	金 海 堂		
那 覇 市	球 陽 堂		
金 沢 市	うつのみや 金沢大学生協	福 音 館	北 国 書 林
富 山 市	* 清 明 堂	瀬 川 書 店	
高 岡 市	文 苑 堂		
新 潟 市	萬 松 堂	文 信 堂 本 店	
福 島 市	岩瀬書店本店		
仙 台 市	アイエ本店	アイエ駅前店	丸 善

山形市 金港堂  
 秋田市 遠藤書店  
 盛岡市 \*加賀谷書店  
 青森市 第一書店  
 弘前市 成田本店  
 札幌市 今泉本店  
 旭川市 丸善  
 りーぶるなにわ  
 ブックス平和

高山書店  
 八文字屋

東北大学生協

東山堂

紀伊國屋

三省堂

\* ブックスアテネ

学生書房クラーク店

## 人文会四季報委員会より

「人文会四季報」をご存知でしょうか？ どのようにご利用下さっていますか？ 最近時々耳にしますが「四季報を配っているせいか、固定客が増えた」と言っていて喜んで下さる書店さんもあります。

梓会から月3回発行されているタブロイド判の書評紙「出版ダイジェスト」を我々人文会が年に4回買切って、特集号の形式で発行しているのが「人文会四季報」です。すでに4年間発行し、この12月には第18号をおとどけます。4万5千部刷り、うち2万部は人文会加盟19社の読者名簿を活用して得た選りすぐった読者に直送し、残りは皆様の店頭へおとどけております。

内容は高名な著者のエッセイを巻頭に置き、続いて書評形式でジャンル別に区分した会員各社の新刊を紹介し、広告欄には、人文会展示販売に合せて特集広告などを組み、「人文会→書店→読者」のかけ橋の役目を果たすよう努力しております。

人文図書は専門書から教養書まで非常に領域が広く、そのため必然的に読者層も学生から一般読書人にまで及び、やや漠然としているため、仕入、販売の的もしぼりづらいことと思います。その上年々新刊の発行点数は全般的に増加し、店頭での陳列期間も短くなっていることは業界共通の悩みです。

こうした中で四季報の新刊レビュー欄は、会員19社の代表的な最近3ヶ月間の新刊紹介で埋まっていますので、効果的に活用して頂ければ前述の如く「固定客増加」に必ずつながる筈です。

創刊号発行の時、会員各社の読者名簿によって「四季報」の読者を募集し、同時に精細なアンケート調査を行いました。この資料が発行部数算定の母体であり、会の活動方針の基礎資料ともなっております。しかし時の経過と共に読者層も生成変動しますので、9月発行の第17号では読者に対して改めてアンケート調査を行って参りました。そして一層効果的な直送網を拡大し、特約書店に対しても更に適正配布ができるよう諸般の体勢を整えたいと思っております。

どうか「人文会四季報」をご認識下さってぜひともご利用下さいますことをお願い申し上げます。

## 本屋の「当惑」について

北九州市金栄堂 柴田良平

月も半ばを越すと、各出版社から翌月の新刊案内がき始める。まだ本としての体裁も整っていない企画に始めて触れるときの、軽い心騒ぎや当惑をはたして何にたとえたらよいであろうか。もし私が、一読者であれば、幸にもそれは単なる心騒ぎにとどまるであろう。読者は、自己にあわせてその企画を選択することができ、爾余のことに心を煩わすこともない。当惑は、もっぱら本屋の側にのみ残る。

まだ見ぬ一冊の本の、向う側には書き手の思想があり、こちら側には読み手の期待がある。本屋とは、その書き手と読み手を結ぶ流通ルートの最後の場所に過ぎない。その最後の場所に坐る者が、「当惑」に耐えて、その企画の仕入部数を決定することが、本の、特に人文関係の本の仕入の起点ではあるまいか。その場所に誰が坐るか、によって、その地域の本の流れ、いいかえれば書き手の思想の流れが、本屋という空間において、一時的に、あるいは決定的に運命づけられるのである。その誰かが企画に対する仕入部数を決めるそのとき、出版業界で最近よくいわれる、ルートの「正常」や「異常」も、書協・取協・日書連といった組織間のせめぎあいも、それぞれのレベルにおける寡占化進行も、マスセルも、合理化による弱小出版社の切捨ても、一切問題とはならない。そもそも本が商品であるのかないのかということすら思念から消えているのである。

出版という行為は、それを業とするか否かにかかわらず存在しうるし、しかも営利を目的とせず、業としない出版活動や、その出版物が、時として社会的にも、一読者にも大きな影響を及ぼすことがありうる……。

(小林一博氏「出版物流通の諸問題」『出版研究』No. 5)

もちろん、私の仕事は、まだ見ぬ新刊の注文数を決定するということが主である。すべてに優先することは、私の読者のために店を絶対に潰さない手だてをすることである。(お前の店の存亡などは、われわれ読者にとって別に何ということでもないのだよ。あまり気負いなさんな、という声が聞える。そしてこの声は正しい。しかし、商品との最初の出会いから神経を

すり減らす商売にしては、続けてゆくことすら奇蹟とせねばならぬ苦しい現状なのである。せめてこれくらいの自負はお許しねがいたい。

「店を潰さないこと」と「新刊を適確に仕入れること」はもともと背反しない。(従って「当惑」はないはずである)。けれどもそのためには、すべての学問を広く浅く噛り、すべての今日の状況に精通していれば、という但書きを補完できての話である。私個人に関する限り初めからこれは絶望的であるが、一旦この座に坐ったからにはもはや逃れる訳にはいかないのである。ではいままでは何をたよりに決定してきたのか、過去の経験か、ということになりそうだが、実際のところ経験などというものは、たとえ三十年積んでみても大して役には立たないものであって、結局、いま、自分はどう生きようとしているのか、ということ以外に何も部数決定の要素はなかった気がするし、絶えず何ものかに向って自分の生きざまを問い続ける他にはこれからも手だてはないと思っている。

こうして決定した部数の適否は、毎日の仕事の段階の中で、必ず醒めた数字となって見せつけられることになる。それは時には私を打ちのめし、時には勇気づける。私が本屋でなくなる日までそれは連続と繰返される日常であろう。日々の「当惑」こそ私自身の影というべきか。あたかも長期療養患者が諦めの極みに自らの病気を友とする心境に達するように、私は「当惑」を友人に持ってしまった。

さて、あなたがこの耐えがたい「当惑」から逃れる方法はひとつだけ確実にある。それは本屋として「決定」を抛棄すれば足りる。決定を抛棄しても決して心配はいらない。企画は商品となって大部分あなたの店頭へくる。一部の親切的な出版社はあなたに適切な部数をあてがってくれるであろうし、それよりも近代科学の粋である取次のコンピューターは、あなたのために<sup>コンピュータ</sup>「彼」の信じる数字を数秒とはかからぬ思考の末見事にはじき出してくれるはずである。不思議なことに、あなたの店を毎日一度は訪れねば気がすまないというあの常得意の読者を、顔も姿も知らないというのに、である。そこであなたは、あの煩わしい「当惑」から解放されて、その余力を多店化・大型化に傾注されるがよい。正味大戦争が地方格差撤廃を以て有終の美を飾ったいま、拡張のための銀行金利を払ってもツリはくる。なお残る余力を駆って中央の大資本を糾弾し、従業員には月5回の休日を与えて「5日制」を豪語すればよい。しかし、私は思う。惜しいなあ、本屋なんかなさるのは……。

## 〈書店の仕事〉について

池袋西口 芳林堂書店  
仕入係長 鍋 石 嘉 瑞

一昨年のブック戦争を契機として、業界には、さまざまな難問が波状的に押し寄せてきており、その情勢のなかで、近来とみに〈プロの書店員〉を待望する声が高まってきているように思われます。しかし、〈プロの書店員〉についてを、たしかな言葉で言いあらわすことは、ことのほか、むずかしいようです。このむずかしさは、おそらく、〈プロ〉という言葉の定義づけそのものの困難さと、〈書店の仕事〉に本来的に内在する曖昧さとの、二つからきているように考えられます。そうだとすれば、まずなによりも、〈書店の仕事〉の確立がなされたうえで、はじめて〈プロの書店員〉が存在できるのだ、とは言えないでしょうか。当店では、〈プロ〉であることを、あくまでも豊富な商品知識にささえられた、計数感覚を身につけることだという風に、定義づけています。こうした定義とはまったく関わりなく、大量の〈本〉は流通しつづけてゆくということは厳然たる現実であると言えますし、また、本を売ることをなりわいとしている以上、本が売れることの内実をつきつめてゆくことが、書店員にとっては当然の課題であるとも言えましょう。これは、いずれかを選択すれば、それで事足りるといった単純な問題では、決してないと、当店は考えます。

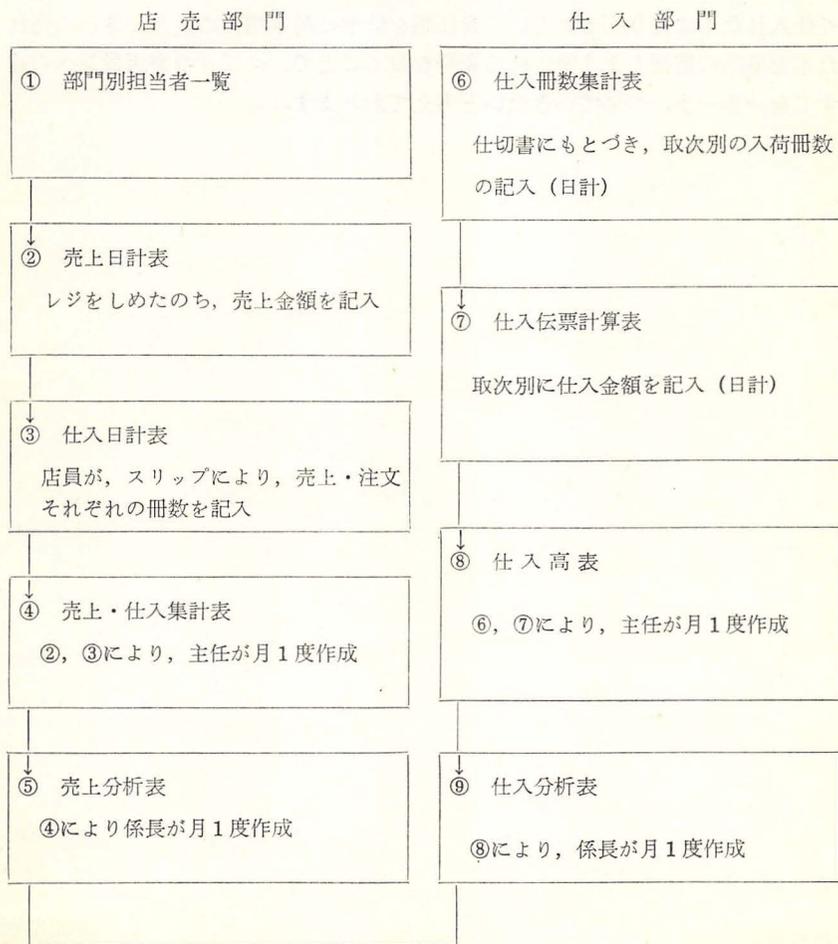
〈何冊の本を仕入れて、それが何冊売れたのか〉といった、ただそれだけの言わば、商品管理の原則の最低限の確認すら、日常業務の繁忙さに追われて、なおざりにしがちであったというのが、いつわらざる実状でした。本を何冊かまとめて仕入れたとしても、それが売れてゆくときは、必ず、一冊一冊の単品であるという事実に着目することで、そうした実状を打破する手がかりが、つかめるのではないかと、考えてみました。単品による商品管理を徹底化させるために、どのような方法があるだろうか。そこるところに、〈プロの書店員〉の問題のすべてが、集約されてくるであろうと思われたわけです。そこで、〈書店の仕事〉についての本格的な検討に取り組みはじめました。

当店では、その成否が、〈売上スリップ〉を十全に活用できるかどうかにかかっていると思いきめ、まず、仕入部門で、売れた本のスリップを回収し、整

理集計する作業に着手し、それを持続させることに全力を挙げました。そして、つぎの段階で、店売部門では、注文スリップを用いて単品の動きを追跡することとし、と同時に、仕切書にもとづいた、まったく異なる方向からの計数を仕入部門で把握するといった観点を導入してみました。二つの方向から、計数管理を推し進めていったわけです。(図 参照)

図①～⑤までの店売部門においては、基礎数字が、店員のスリップ処理にゆだねられており、言わば、下から積みあげられた計数であり、一方、図⑥～

(図 計数管理のための作成書類)



⑨までの仕入部門においては、すべて仕切書にもとづく、上からの計数でありこの二つをつきあわせることが、結果として、本を売ることの総体的な把握に結びつき〈書店の仕事〉の確立につながっていったと言えます。こうした一連の作業は、1日あるいは1カ月が単位となりますので、従来ややもすれば、惰性に流れがちな日常業務に、ひとつのケジメを持ちこむことにもなりました。

このように、スリップを最大限に利用することは、店員に日常業務を眼に視えるかたちで把えかえすといった、視点を醸成させることであり、このことが〈書店の仕事〉の確立のさいのひとつのポイントになると思われます。当店は〈仕入れた本は売り切る〉という責任感を仕事の基本精神に置き、さらに売れた本を単品で把握しよう努とめる姿勢を貫くことで、〈プロの書店員〉への途すじを一步一步、つめていきたいと考えております。

## これからの書籍販売について

紀伊國屋書店本店 小見山 直 三

現在の大学におけるカリキュラムは専門学選択の前提として、一般科目が必須となっている。つまり自然科学，社会科学のな学問が実業に結びつくもの，いわば人間の行動を支配するものとすれば，人文科学はその根底的なもの，つまり心の動きを支配するものである。しかし勿論これらの学問は全てが織りあってこそ真の知識をつくり出す糧となるのであるが，その基本をなすものとして人文科学の重要性があるのである。

しかし現在の世の中においては真の知識人をつくり出す努力に乏しいのではないかと思う。出版業界においてもその一面が現われている。知識を得るにあたっては良き図書の選択が重要であるのは当然のことであるが，現実にあるようなぼう大な出版点数の中から選び出すことは読者にとって至難の道と言わざるを得ない。

このことから現実にもスコミ操作と言われる様なことが起こるのは避けられないことであろう。確かにテレビ，ラジオ等の媒体によって話題となったもの，新聞の書評等で取りあげられたものなどを見ると，異常な売れ行きを示すことが多い。これは同時に現状の大量販売システムの特徴の一つであるように思える。読者にとって書籍がより安く，よりたやすく入手できることは，自動車産業におけるフォルクスワーゲンの出現の様に有意義である。しかしあくまでもそれは良き製品を安くと言う意味であって，良貨が悪貨に駆逐されてしまうような状態は望ましくないことである。しかし読者がスコミに動かされているという一面はいなめないが，逆に一般読者がスコミを動かしているとも言えよう。つまり読者は情報に飢えているのではないかと思う。実際に昔から新聞広告欄の三大スポンサーは薬品，化粧品，図書となっており現在もそれは変化していないのである。

### 新聞総覧による広告掲載率

	薬 品	化粧品	図 書
大正5年	20.3%	24.8%	11.0%
大正15年	21.8%	16.5%	11.7%

昭和5年	23.5%	16.7%	12.9%
昭和10年	26.5%	14.5%	11.0%
現在			7~8%

つまり本は売る事と同時に売れているという両面を持っているのである。例えばベストセラーもロングセラーも創られるものであるが、概して売り手の創るベストセラーと買い手の創るロングセラーどちらがすぐれているかは一目瞭然である、ロングセラーの輩出を望むものである。しかしながらベストセラーの書も売れたと言う面で良い点をかなり含んでいることは確かである。その一例としては——「読者の欲望を原点に据えなおして著者中心の権威主構を否定し書物から物権崇拜性をはぎとって書物に商品としての自覚を持たせた意義は大きい」（講座現代ジャーナリズム 出版）

次に書籍を販売する上の難かしさ、それは、あたり前のことではあるが商品としての書籍が一点ずつ皆違った特質を持っていることである。商品を販売することにあたっては商品のそれを適確に把握しておくのが当然のことであろうが、書籍の場合は全点内容を完読するのは全く不可能なことである。それ故書籍を販売するにあたっての判断基準は出版元、著者、定価、装幀、帯の短文等の外見が多くを左右するという結果を生ずるのである。特に現在のように時流を追った利那的な出版、あるいは類似企画商品の輩出はよりその傾向を強めるものであろう。しかし書籍の装幀というのは不思議なものであり、それが出版社の特徴を現わすまでになると、販売するにあたって何となくなじみのあるムードさえかもし出すのである。逆に現在の様に特種版型の書籍がふえてくると現状の棚型体での展示にはむりが生ずるといふ欠点もある（一般の棚はほとんどA5版までしか収容できず特種版型のものはほとんどカウンターなどに展示する事になる。）

最後に現代は映像時代と呼ばれているように、自分の力で読まずとも耳からそして目からあらゆる情報を入手できる。これは大人だけでなく子供達にも大きな影響を与えている。自分達の子供の頃は一冊の本が寝食を忘れるほどの喜びを与えてくれ、退屈な時をまぎらわしてくれたものである。ところが今はTVがその立場にとってかわっている。そして映像に親しんだこれらの子供達が成長した時どれだけ書物を手にとるだろうかと言うことに一抹の不安を感じるものである。なぜなら読書というのは一つの習性であると考えからである。それ故これからは一般書籍の充実は勿論であるが、それ以上に児童書の充実にも力を入れるべきであろう。また課題図書なども教訓的なおしつけの図書を与

えるよりも、子供の目からの自由な選択にまかせ、読書習性と言うものを自然と身につけてくれるように考えるべきであろう。

人文会会員出版社名簿 昭和49年12月25日現在

社名	担当者	〒番号	所在地	電話
青木書店	山根 襄	101	千代田区神田神保町 1-60	292-0481
紀伊国屋書店	八木 茂	102	千代田区五番町 12	263-9006
勁草書房	石橋 雄二	112	文京区後楽 2-23-15	815-5277
現代思潮社	田浪 政博	112	文京区小日向 1-24-8	943-4406
社会思想社	鎌塚 正	113	文京区本郷 1-25-21	813-8101
春秋社	根津 栄二	101	千代田区外神田 2-18-6	255-9611
誠信書房	穴戸 玄德	112	文京区大塚 3-20-6	946-5666
筑摩書房	米原 秀雄	101	千代田区神田小川町 2-8	291-7651
東京創元社	清水 純孝	162	新宿区新小川町 1-16	268-8231
東京大学出版会	中平 千三郎	113	文京区本郷 7-3-1	811-8814
日本評論社	岩田 新造	160	新宿区須賀町 14	341-6161
福村出版	福村 惇一	113	文京区本郷 4-23-9	811-0660
平凡社	今給黎 元郎	102	千代田区四番町 4-1	265-0451
法政大学出版局	阿部 好文	106	港区南麻布 2-8-4	453-0717
みすず書房	相田 良雄	113	文京区本郷 3-17-15	814-0131
未来社	石井 奈良彦	112	文京区小石川 3-7-2	814-5521
有斐閣	前田 昌男	101	千代田区神田神保町 2-17	265-6811
吉川弘文館	林 利一	113	文京区本郷 7-2-8	813-9151
理想社	石井 嗣基	162	新宿区赤城下町 46	268-1306

# 新刊図書目録

自 昭和49年6月1日  
至 昭和49年11月30日

## 哲学・思想

現代社会学大系7巻

**史的唯物論** フーバーリン著  
佐野勝隆他訳  
マルクス主義の基礎理論としての史的唯物論を  
初心者向けに体系的に解説した名著の完訳版  
四六版 452頁 ¥3,500 [青木書店]

マルクス主義研究入門2巻

**政治学** 田中富久治編  
マルクス主義における政治理論の基礎を説明  
し、理論的到達点と今後の研究課題を提起する。  
四六判 300頁 ¥1,300 [青木書店]

**国家思想史(下)** 田中浩・田口富久治編  
レーニン・グウムン・ウェーバー、ラスキ等現  
代国家論の理論内容と現代的課題を解明する  
四六版 280頁 ¥1,500 [青木書店]

**国家思想史(上)** 田中浩・田口富久治編  
市民革命以来ヨーロッパに誕生し発展した近代  
国家思想の軌跡を理論内容を通し解明する  
四六判 288頁 ¥1,500 [青木書店]

**科学哲学の歴史** ジョン・ロセー著  
常石敏一訳  
科学的認識とは何か。本書は、科学の考え方の  
歴史を時代背景を通して浮彫りにした野心作  
四六判 280頁 ¥1,500 [紀伊国屋書店]

紀伊国屋新書

**ヘーゲルの歴史意識** 長谷川宏著  
啓蒙批判、宗教論から国家論へと展開される彼  
の強固な歴史意識およびその帰趨を深部からえ  
ぐる  
新書判 200頁 ¥400 [紀伊国屋書店]

紀伊国屋新書

**日本精神史の課題** 宮川透著  
比較精神史の立場から、課題としての近代日本  
人の精神構造を把えた『序論』につづく姉妹編  
新書判 196頁 ¥400 [紀伊国屋書店]

武谷三男現代論集2巻

**核時代** 一小国主義と大國主義— 武谷三男著  
科学戦争の恐るべき様相を分析し、真に人類の  
為の科学と平和の創造に小国は何をすべきかを  
論究  
四六判 370頁 ¥1,600 [勁草書房]

武谷三男現代論集1巻

**原子力** 一闘いの歴史と哲学— 武谷三男著  
原子力発電はまだ確立された技術ではない。安  
全性軽視の開発を批判し、原子力問題の展望を  
拓く  
四六判 320頁 ¥1,600 [勁草書房]

**パスカルの世界像** 國辺保著  
科学者のパスカルが究極に構想したヴィジョン  
を完教、科学、芸術等多角的なアプローチによ  
り究明  
四六判 330頁 ¥2,300 [勁草書房]

**日本の教育改革を求めて**  
教育制度検討委員会・梅根悟編  
国民の権利としての教育を求める立場から、教  
育改革の基本理念と全体像を具体的・総合的に  
提言。  
四六判 496頁 ¥1,200 [勁草書房]

**酔花集** 田中於菟弥著  
斯界の権威である著者が、古典から現代のイン  
ド文学の諸側面を解明した好論文集。  
菊判 352頁 ¥4,500 [春秋社]

**サンスクリット物語初等文法** J・ゴンド著  
鍾 淳訳  
サンスクリット<梵語>の世界的権威オランダ  
のゴンド教授の定評ある初級教科書の翻訳。  
A5判 176頁 ¥1,500 [春秋社]

**現代人のモラル** マルク・オレゾン著  
伊藤 晃訳  
時代遅れな律法主義的《伝統墨守》の宗教倫理  
に代る、愛の要請としてのモラルの在り方を説  
く。  
四六判 224頁 ¥800 [春秋社]

**性の神秘** マルク・オレゾン著  
伊藤晃・竹田宏訳  
生殖行為の肉體的な意義、性の本源的な重要性  
を教え、キリスト教の啓示から性の究極的意味  
を示唆。  
四六判 208頁 ¥800 [春秋社]

**死とその後** マルク・オレゾン著  
伊藤晃・支倉寿子訳  
精神分析学の手法と現象学的考察から死のキリ  
スト教の見方の理解を助ける生と死の貴重な証  
言。  
四六判 200頁 ¥800 [春秋社]

**資本主義形成期の秩序意識** 鹿野政直著  
幕末から明治末期にかけての日本資本主義形成期における日本人の精神過程を明らかにする労作。  
菊判 668頁 ¥3,800 [筑摩書房]

**革命とインテリゲンツィア** 勝田吉太郎著  
ロシア革命における知識人の役割というものを多面的かつ的確にとらえた示唆多い論考である  
A 5判 288頁 ¥1,700 [筑摩書房]

**現代日本の経済政策** 正村公宏著  
現代マルクス主義経済学者として独自の経済論を展開している著者の、「革新批判」の最近の論文。  
四六判 224頁 ¥1,100 [筑摩書房]

**近世哲学史講義** シェリング著 細谷貞雄訳  
ドイツ観念論の正統を継ぐ著者が、その独自の哲学体系を明らかにすべく執筆した哲学史である。  
A 5判 368頁 ¥4,500 [福村出版]

叢書スヴェラージュ  
**構造主義とマルクス主義** ルフェーブル、マルチネ他著 宇波彰訳  
フーコー、アルチュセール等の思想的地位を明らかにし、構造主義とマルクス主義の対立を浮き出す。  
四六判 336頁 ¥2,000 [福村出版]

叢書スヴェラージュ  
**疎外と国家** F・ミニラー著 清水正徳・山本道雄訳  
ルソー・ヘーゲル・マルクス 政治の本質を人間学における支配と隷属の問題として論ずる思想論  
四六判 192頁 ¥1,200 [福村出版]

叢書スヴェラージュ  
**マルクス主義の根本問題** プレハール著 鷲田小弥太訳  
全一的な世界観であるマルクス主義を支える哲学的唯物論の擁護と、その意義の解明を旨とした。  
四六判 212頁 ¥1,300 [福村出版]

増補 **カントの自由の概念** 矢島羊吉著  
カントの諸著作に現われた「自由」の概念を探ることにより、カント哲学に新たな照明をあたえる。  
A 5判 296頁 ¥3,800 [福村出版]

叢書スヴェラージュ  
**実存主義を超えて** コリン・ウィルソン著 中村保男・中村正明訳  
サルトル、ハイデッガー、キルケゴール等の思想を徹底的に再検討し、新実存主義への途を探る。  
四六判 240頁 ¥1,500 [福村出版]

叢書スヴェラージュ  
**歴史・階級・人間** ルイ・アルチュセール著 西川長夫訳  
ジョン・ルイスへの回答 歴史における主体を、動的構造の中での人間におく新たなマルクス主義。  
四六判 228頁 ¥1,400 [福村出版]

叢書スヴェラージュ  
**若きマルクスの革命理論** ミシェル・ロヴィ著 山内稔訳  
若きマルクスの政治=哲学の理論構築過程を徹底的に解明し、マルクス主義の可能性を探る。  
四六判 392頁 ¥2,400 [福村出版]

フォイエルバッハ全集第3巻  
**後期哲学論集** 船山信一訳  
「唯心論と唯物論」を中心に、フォイエルバッハ後期の哲学論文を収録した巻である。  
A 5判 376頁 ¥4,000 [福村出版]

フォイエルバッハ全集第4巻  
**哲学評論集** 船山信一訳  
同時代の多くの哲学的著作に論評を加えた論文を多数収録した。「ヘーゲルの『哲学史』」他。  
A 5判 338頁 ¥4,000 [福村出版]

フォイエルバッハ全集第15巻  
**宗教小論集** 船山信一訳  
「奇跡にかんして」「マリア崇拜にかんして」「ルターの意味での信仰の本質」等の宗教論を収む。  
A 5判 272頁 ¥3,500 [福村出版]

平凡社の選書  
**パロディの精神** 富士正晴著  
江戸の仮名草子『仁勢物語』（伊勢物語）のパロディ）を材料に、庶民の笑いの精神を描く。  
四六判 286頁 ¥920 [平凡社]

**思想のドラマトウルギー** 林達夫編 久野取編  
二人の知識人が語るさまざまな体験は時代の精神的雰囲気を活き活きと伝える大正昭和精神史  
四六判 380頁 ¥1,200 [平凡社]

**南方熊楠** 飯倉照平編  
柳田邦男等同時代人が語る巨人熊楠の人と思想、その業績・逸話と伝統に彩られたその生涯  
四六判 322頁 ¥1,200 [平凡社]

## 河上肇より柳田民蔵への手紙

大内兵衛・大島 清編  
現存する手紙 101 通と河上の手稿を全文収録。  
付／河上肇の生涯（大内）柳田民蔵の青春時代  
（大島）  
四六判 324頁 ¥1,800 [法政大学出版局]

叢書・ウニベルシタス

### 哲学的素描

S・K・ランガー著  
塚本利明・星野徹共訳  
言語、芸術、文明等を独自のシンボル理論を通して考察した、ランガー哲学の基本構造を示す論集  
四六判 256頁 ¥1,600 [法政大学出版局]

### 新版柳田国男の思想

中村哲著  
社会科学の立場から、その思想の特異な体質に内的構造を比較文化論的に追求した柳田研究の先駆  
四六判 328頁 ¥1,800 [法政大学出版局]

叢書ウニベルシタス

### カントと物自体

エーリッヒ・アディッケス著  
赤松常弘訳  
カント研究の大家がカントの晩年の膨大な遺稿を駆使し、その理論哲学の核心を実証的に究明する。  
四六判 304頁 ¥1,800 [法政大学出版局]

叢書ウニベルシタス

### ブルジョワ精神の起源

B・グレットウィゼン著  
野沢 協訳  
18世紀フランスにおけるブルジョワ的世界像とカトリックとスムの関係を通じて啓蒙思想の発展を展望  
四六判 400頁 予価¥2,400[法政大学出版局]

### 斯ち切られた未来

一評論と対話—  
エリアス・カネッティ著  
岩田行一訳  
群衆・権力・死・変容をモチーフにヒトラー孔子、ヒロシマ、マルクス、フロイトを論じる  
四六判 220頁 ¥980 [法政大学出版局]

### 記録と人間

福田定良著  
演技者と民衆、教師と生徒との間の〈おかしな〉関係の中に新鮮な創造性を見出す独創的喜劇論。  
四六判 280頁 ¥1,200 [法政大学出版局]

叢書ウニベルシタス

### 古代の芸術と祭祀

J・E・ハリソン著  
星野 徹訳  
芸術の発生を古代祭祀にもとめ人類学的にアプローチしつつその発展のプロセスを綿密に踏づける。  
四六判 230頁 ¥1,500 [法政大学出版局]

叢書ウニベルシタス

### ベルクソンの哲学

ジル・ドゥルーズ著  
宇波 彩訳  
その哲学における持続、記憶、エラン・ヴィタルをドゥルーズ独自の「差異の概念」を通して考察  
四六判 140頁 ¥1,300 [法政大学出版局]

りぶらりあ選書

### デーモン考

R・M・シュテルンベルク著  
木戸三良訳  
西欧思想史における魔の系譜に光を当て現代科学主義文明批判の根拠としてその復権を唱える。  
四六判 288頁 ¥1,600 [法政大学出版局]

### 部分と全体

W・ハイゼンベルク著  
山崎和夫訳  
著者の偉大な着想が、その時々物理学の巨星たちとの対話によって育ち開花した事を伝える。  
四六判 400頁 ¥1,800 [みすず書房]

狄生徂徠全集 2 巻

### 言語篇

戸川芳道編  
神田信夫編  
「訳文筆跡」「訳訳示蒙」など文字とことばに対する鋭い感覚を示す彼の新しい言語学の創出  
菊判 780頁 ¥8,000 [みすず書房]

### 科学・人間・組織

カビッツァ著  
金光不二夫訳  
ソ連最高の物理学者がラザフォード、ランジュヴァンなどの思い出と科学の組織論などを述べる。  
B 6 判 274頁 ¥1,500 [みすず書房]

### マルクス主義

G・リヒトハイム著  
奥山・田村・八木橋訳  
思想としての「マルクス主義」全体の批判的研究であり、この形成の歴史的説明を与えようとする。  
A 5 判 350頁 ¥3,600 [みすず書房]

### ジャン=ジャック・ルソー問題

E・カッシーラー著  
生松敏三訳  
ルソーの思想がはらむ現代性を中心に据えて、ルソー像の核心を衝いた碩学による先駆的論文  
四六判 110頁 ¥1,000 [みすず書房]

### アインシュタイン書簡集

ネーサン・ニルデン編  
金子敏男訳  
第一次大戦中から死の直前まで、彼が世界中の人々と交わした戦争・平和に関する生新な手紙を収める。  
四六判 260頁 ¥1,800 [みすず書房]

知覚の現象学 2 メルロ・ポンティ著  
竹内・木田・宮本訳  
経験論と主知主義とを批判した第1巻のあとを  
うけて、知覚世界、コギトと時間性との考察へ  
と進む。  
A 5判 430頁 ¥3,500 [みすず書房]

論理学研究 3 E・フッサール著  
立松弘孝・松井良知訳  
分析的研究の独自の意義と現象学的方法の純粹  
性、重大な一連の新しい洞察は研究者に歓迎さ  
れる。  
A 5判 392頁 ¥4,000 [みすず書房]

日本思想史の基礎知識 田村円澄・黒田俊雄  
相良了・源了円編  
古代から明治維新期までの日本の思想の流れを  
広い視野から多角的に展望、解説したハンドブ  
ック。  
A 5判 538頁 ¥1,600 [有斐閣]

ヘーゲルトと現代 宮本富士雄編著  
篤学気鋭の学究がヘーゲル哲学と密接に関連す  
る現代哲学の諸問題についてまとめあげた論文  
集。  
A 5判 296頁 ¥1,500 [理想社]

人格 金子武蔵編  
人格概念、人格概念の現代的把握、人間と人格  
について、日本倫理学会の研究者が明解に論ず  
る。  
A 5判 254頁 ¥2,000 [理想社]

ハイデッガー選集第23巻  
ヒューマニズムについて ハイデッガー著  
佐々木一義訳  
「ヒューマニズムについて」はフランスのポー  
フレ教授の質問に答えた書簡でハイデッガーの  
入門書  
A 5判 208頁 ¥1,500 [理想社]

## 宗 教

理性と信仰 楠 正弘著  
〔自然的宗教〕宗教現象から宗教の本質を抽出  
し、自然的宗教の概念規定を試みた若き思索の  
書。  
B 6判 280頁 ¥1,200 [未来社]

講座仏教思想 2 卷  
認識論・論理学 三枝充應編  
仏教の哲学を認識論という新しい角度から論究  
しインドの論理学及び仏教論理学について論究  
する。  
A 5判 400頁 ¥2,500 [理想社]

講座仏教思想第6巻  
人生観 三枝充應編  
最澄、空海、法然、親鸞等困難な歴史的状況の  
中に身を以て全生涯を仏法に生きた八人の人生  
観。  
A 5判 362頁 ¥2,500 [理想社]

沢崎堅造の信仰と生涯 飯沼二郎編  
経済学徒でありクリスチャンであった故・沢崎  
堅造の戦中の中国熱河省での布教活動を偲ぶ文  
集。  
B 6判 194頁 ¥900 [未来社]

アジア宗教の救済理論  
—ヒンドゥー教・ジャイナ教・原始仏教—  
マックス・ヴェーバー著  
池田昭訳  
『ヒンドゥー教と仏教』第二章の邦訳。インド  
の宗教意識、学問・芸術、職業倫理等について  
詳論。  
四六判 230頁 ¥1,400 [勁草書房]

宗教と社会科学のあいだ  
R・Nベラー著  
葛西実・小林正佳訳  
本書は社会学、歴史学、宗教学、人類学等の諸  
領域ですぐれた研究を発表してきたベラーの記  
録。  
B 6判 254頁 予¥1,200 [未来社]

訂修道元の言葉 大久保道舟編著  
今まで領解の道を閉ざされていた道元の思想の  
中核に触れ、著者の努力でその教義万人にうる  
おす  
B 6判 382頁 ¥2,500 [誠信書房]

わが西天開教 藤井日達著  
非暴力と世界平和の悲願に燃え、ウチワ太鼓を  
叩きつける聖者藤井日達上人の信仰と行動の  
記録  
四六判 256頁 ¥1,000 [春秋社]

坐禅と讃禪話 紫山全慶著  
白隠禪師の「坐禅和讃」の成立・組織・目的等  
を分析した興味横溢する南禅寺紫山老師の新提  
唱。  
四六判 304頁 ¥1,500 [春秋社]

禅僧の歌 古田紹欽著  
道元・夢窓・浮屠・白隠・仙厓等18人の禅僧の  
和歌を鑑賞して、その素顔と行実とを側面から  
追求。  
四六版 216頁 ¥1,000 [春秋社]

### 瑩山禪師の研究 東隆 真著

瑩山禪師の伝記とその業績をくまなく精査した  
画期的な史学的研究。待望の純正史伝完成  
菊判 296頁 ¥3,000 [春秋社]

### インド哲学仏教学研究(2) 金倉円照著

第一篇について、インドの哲学思想を解明・解  
説した論文集・解題と解説をも収録している。  
A 5判 424頁 ¥4,800 [春秋社]

### 世界の中の親鸞 上田義文 石田慶和 編

浄土真宗の開祖であり、日本思想史上不世出の  
天才、親鸞の宗教思想の世界性、普遍性を論述  
す  
四六判 336頁 ¥1,200 [春秋社]

### インド仏教史(上) 平川 彰著

インド仏教の歴史を、最新の研究成果に基づい  
て、初学者にもわかりやすく詳述した決定版。  
四六版 448頁 ¥2,500 [春秋社]

## 心 理

#### 基礎心理学 5 卷

### 社会心理学

L・マン著  
立花義遠訳

本書は、人間と文化的環境の関係、英知ある人  
間の行動のさまざまな側面を平易に論じた入門  
書。

A 5判 252頁 ¥2,500 [誠信書房]

#### 環境心理学 I 卷

### 概念と研究態度

H・M・ブロンクスキー他編  
穂山貞登訳編

人間と環境のかかわりあいを包括的総合的な立  
場から学際的に体系化した世界初の環境心理学  
の書

A 5判 188頁 ¥2,500 [誠信書房]

#### 環境心理学 3 卷

### 環境組織内の人間的要素

H・M・ブロンクスキー他編  
広田君美訳編

現代の緊急の課題である環境の問題を、学際的  
な複眼で凝視して、新しい科学として結晶させ  
た。

A 5判 224頁 ¥2,500 [誠信書房]

#### 臨床心理学講座 6

### 青年の心理臨床

水島恵一・台 利夫  
・空井健三編集

現代の臨床心理学が直面している診断・治療、  
その他の実際的諸問題について触れたユニーク  
な書

A 5判 464頁 ¥4,800 [誠信書房]

### 精神心理学研究・1 荻野恒一著

ヨーロッパ大陸の精神病理学の伝統につちかわ  
れながら、ひたすらその研究を続けてきた論文  
集。

A 5判 558頁 ¥6,000 [誠信書房]

#### 書き下しシリーズ

### ノイローゼの体験療法 鈴木知準著

本書は多様の症状をのべ読者に平等感を与え、  
森田療法のやり方を教え、全治にいたる道をと  
く。

B 6判 320頁 ¥1,200 [誠信書房]

#### テキストシリーズ

### 心理学の枠組み

E・ブルンスウィック著  
船津孝行訳

巨視的、確率的機能主義について、価値ある範  
例を挙げて、簡潔に要約し著者が自ら解説した  
名著。

B 6判 184頁 ¥1,200 [誠信書房]

#### 現代の精神医学 2 卷

### 不安の病理 大原健士郎編

本書は、広く不安を社会的・心理学的・生物  
学的に追求し、その病理を鋭く解明しようと迫  
る。

A 5判 290頁 ¥3,000 [誠信書房]

#### 翻訳シリーズ

### 透明なる自己

S・M・ジュラード著  
岡堂哲雄訳

カウンセラー、ナースなど精神的援助に係る人  
や管理社会の疎外感に悩む現代人を啓発する名  
著。

B 6判 292頁 ¥1,800 [誠信書房]

#### 翻訳シリーズ

### オルポートとの対話

R・I・エヴァンズ著  
宇津木保・青木孝悦・邦子訳

この対話で彼は広汎な問題を通して人間性豊か  
な魅力ある人間観を提出し興味深い恰好の文献  
書。

B 6判 228頁 ¥1,500 [誠信書房]

#### 感情心理学 I 卷

### 感情と情動

一歴史と理論一

松山義則・浜 治世著

感情と情動の心理学的理論を展望し、精神病者  
その他の異常における情動の機能について概観  
す。

A 5判 210頁 ¥3,000 [誠信書房]

#### 翻訳シリーズ

### 人間行動の変容

H・R・ビーチ著  
藤野 武訳

行動療法の原理と技法を、学習心理学における  
実験的研究から得られた知見を駆使し説明した  
書。

B 6判 386頁 ¥2,500 [誠信書房]

翻訳シリーズ

### 失語症と神経症

S・フロイト著  
安田一郎編訳

本書は、初期フロイトの未訳の論文を収め、フロイトの思想の発展を踏づけた注目の書である  
B 6判 214頁 円1,500 [誠信書房]

翻訳シリーズ

### 行為と演技

E・ゴッフマン著  
石黒 毅訳

日常生活において自己がどのように呈示されるかを演出論的視点から追求した先駆的著作である。  
B 6判 362頁 円2,500 [誠信書房]

感情心理学 I 巻全6巻

### 感情と情動

一理論と臨床— 松山義興著  
浜 治世訳

感情と情動の心理学的理論を展望し、精神病患者その他の異常における情動の機能について概観す。  
A 5判 210頁 円3,000 [誠信書房]

### 心理・教育のための FORTRAN

難波精一郎・吉田光雄編著

コンピュータを積極的に利用できるように意義、目的、使用法を懇切かつ平明に指導詳述した書。  
A 5判 520頁 円8,000 [誠信書房]

### 脳障害児の心理と教育

W・M・クリュックシャンク著  
伊藤隆二・仲野善達訳編

著者の教育法は、従来の生活・職業指導中心の特殊教育に衝撃を与えた。その全貌を初紹介した書。  
A 5判 282頁 円3,500 [誠信書房]

### こころの旅

神谷美恵子著

本書は、ひろい視野をもつ体験ゆたかな精神科医が、あたたかい筆で人のこころの一代を語る。  
四六判 236頁 円800 [日本評論社]

### 診断・日本人

宮本忠雄編

三島由紀夫など26人の人物に精神医学の鋭い照射を投げ、彼らの優れた業績にひそむ狂気を探る。  
A 5判 319頁 円1,300 [日本評論社]

### 初等教育心理学要説

小村利宜編著

総合的の全人教育の心理学書を目ざした本書は、幼児・児童・生徒の生活実態に即応した記述を展開。  
A 5判 216頁 円1,500 [福村出版]

### ふれあい

D・モリス著  
石川弘義訳

『裸のサル』の著者モリスが、抱擁、握手、キッス等ボディタッチの意味を追求する。  
B 6判 300頁 円950 [平凡社]

### ヒトラーの心

W・C・ランガー著  
ガース・鴨子訳

1943年に米国の諜報機関の要請によって作製され、永く極秘となっていたヒトラーの精神分析報告書。  
B 6判 314頁 円880 [平凡社]

### 愛と憎しみ1

アイブル=アイベスフェルト著  
日高敏隆・久保和彦訳

動的行動学の成果から愛情が攻撃衝動と表裏一体をなし、生れつき本能として組込まれている  
B 6判 190頁 円1,000 [みすず書房]

### 愛と憎しみ2

アイブル=アイベスフェルト著  
日高敏隆・久保和彦訳

母と子の個別的なきずなの中に生れる子の原形類こそ平和的な社会生活の結晶核であると述べる。  
B 6判 190頁 円1,000 [みすず書房]

## 社 会

勁草一医療・福祉シリーズ

### 実践的医学概論

和気 朗著

細菌学者としての二十年の苦闘から医学研究者の考え方・行動論とその世界、体験的科学論を展開。  
四六判 232頁 円1,200 [勁草書房]

小倉金之助著作集第7巻

### 科学論・数学者の回想

大矢真一・黒田孝郎編  
平田 寛・小倉欣一編

常に時代に向き合って発言した一連の科学論と戦闘的人間主義に貫かれた長い抵抗の生涯の回想。  
四六判 376頁 円1,800 [勁草書房]

### 行動社会学と経済発展

—社会変動への一視点— J・H・クンケル著  
加藤昭二訳

実験心理学に基づく行動論的人間モデルをマクロな社会変動論へ組み込み、発展分析に新境地を開拓。  
A 5判 400頁 円4,000 [勁草書房]

### 日本の教育裁判

本山政雄編

頻発する教育紛争・勤評・学テ・教科書・学校管理等裁判を検討・批判して、教育の在り方を追及。  
四六判 280頁 円1,400 [勁草書房]

**日本の教育改革を求めて** 梅根 悟編  
民主的教育制度改革の基本的課題をふまえ、具体的に提言をする教育制度検討委員会の最終報告。  
四六判 480頁 ¥1,200 [勁草書房]

勝海舟全集 8巻

**吹塵録Ⅱ** 勝部真長・松本三之介編  
大石勇次郎編  
米穀・貨幣から治水・軍役まで江戸時代の社会経済を知るための最適な文献。  
四六判 544頁 ¥2,200 [勁草書房]

社会学講座 8巻

**経済社会学** 富永健一編  
現代の活発かつ多面的な経済活動を、社会学と経済学の学際的協力によって解明する。  
A 5判 360頁 ¥1,500 [東京大学出版会]

**行動科学における相関分析法〔第二版〕** 芝 祐順著  
初心者のために相関についての基礎的な説明を新に加え、各頁にわたり細心の注意を払って解説。  
A 5判 230頁 ¥1,500 [東京大学出版会]

社会学講座 2巻

**社会学理論** 浜島 朗編  
本書は、社会的分業と構造分化とのさまざまな関係や諸相と構造変動との関連を究明する。  
A 5判 280頁 ¥1,500 [東京大学出版会]

日本庭園史大系第2巻

**飛鳥・奈良・平安の庭** 重森三玲著  
重森完途  
園城寺、大沢池、涉成園、勤修寺、平等院、毛越寺、法金剛院、旧大乗院址、円成寺等11庭園収録。  
A 4判 384頁 ¥8,200 [社会思想社]

日本庭園史大系第6巻

**室町の庭(二)** 重森三玲著  
重森完途  
酬恩庵、竜源院、大仙院、退蔵院、真珠庵、雲雲院、安国寺、旧玄成院、旧大寺等10庭園収録。  
A 4判 280頁 ¥8,200 [社会思想社]

日本庭園史大系第8巻

**江戸初期の庭(五)** 重森三玲著  
重森完途  
伝法院、後楽園、建長寺、修学院離宮、御殿山普門院、早雲寺、山口氏、能仁寺等9庭園収録。  
A 4判 300頁 ¥8,200 [社会思想社]

日本庭園史大系第26巻

**江戸中末期の庭(三)** 重森三玲著  
重森完途  
輪王寺、臨濟寺、新羅善神宮別当宅、佐多氏、森氏、西郷氏、平山氏、清水氏、野崎氏等16庭園。  
A 4判 〒288頁 ¥8,200 [社会思想社]

現代教養文庫819巻

**アナキスト** 勝田吉太郎著  
ロシア革命の潜在力となったロシアアナキスト達、ナロードニキ達を思想的にとらえた好著  
A 6判 304頁 ¥360 [社会思想社]

**わが体験的政治論** 田 英夫著  
ジャーナリスト出身のすぐれた政治家が、日本の権力構造の矛盾をあげた『政治白書』  
四六判 224頁 ¥750 [社会思想社]

**革命揺籃期の北京** 小島麗彦編  
藤原謙兄著  
一辛亥革命から山東出兵まで一中国近代の混乱期を、在北京記者として論評をはった藤原の軌跡。  
四六判 356頁 ¥1,800 [社会思想社]

日本古代文化の探究

**馬** 森 浩一編  
古代史の謎を解く重要なカギである「馬」をとりあげ、日本古代における馬と文化の周辺をあらう。  
四六判 296頁 ¥1,200 [社会思想社]

日本古代文化の探究

**鉄** 森 浩一編  
銅文化の陰になりあまり脚光をあびることのなかった「鉄」をとりあげ、問題提起を試みた。  
四六判 322頁 ¥1,200 [社会思想社]

**馬淵東一著作集全 3巻**

レヴィエ＝ストロスに匹敵する社会人類学者、馬淵教授の全業績を集大成した。  
A 5判 平均608頁 各¥6,800 [社会思想社]

**社会問題研究第1巻** 河上 肇著  
著者の思想形成の礎となった個人雑誌『社会問題研究』(大正8～昭和5)106冊の完全復刻版。  
菊判 438頁 ¥6,800 [社会思想社]

**マルセル・モースの世界** デュモン他著  
走立和浩他訳  
現代フランス社会学の定礎者の一人であるモースについて特集した、フランスのアルク誌の全訳。  
四六判 260頁 ¥1,800 [みすず書房]

**砂漠の歲月** J・W・クルーチ著  
太田芳三郎訳  
文明の辺境砂漠で1年余をすごした著者が、動植物の生態などを通して描く、現代都市文明批判。  
B 6判 340頁 ¥2,200 [みすず書房]

**出稼ぎの経済学** 大川健嗣著  
出稼ぎ労働の供給側と吸引側の論理を、戦後日本資本主義と農業との相関関係のなかで把握する。  
新書判 200頁 ¥400 [紀伊国屋書店]

**アメリカ社会福祉の発達**  
M・E・リッチモンド他著  
田代不二男編訳  
本書は欠かすことのできない、もっとも重要な人びとや社会事業の各分野に関する基本的文献集。  
A 5判 186頁 ¥2,000 [誠信書房]

**ドイツ中世後期の世界** 阿部謹也著  
[ドイツ騎士修道会史の研究]ヨーロッパ中世の社会構造究明の要諦をなす騎士修道会史の断片。  
A 5判 512頁 5,800 [未来社]

**おんな部落・沖縄** もろさわ・ようこ著  
[女性史をととして]おんなに対する差別意識とラジカルに対決してきた著者の告発的エッセイ集。  
B 6判 270頁 ¥980 [未来社]

**イギリスとドイツ** H・レヴィ著  
高橋哲雄訳  
ドイツ現代史における民主主義の失敗の原因とドイツ的なるものの本質をイギリスと対比して追求。  
B 6判 270頁 ¥1,600 [未来社]

**布施辰治外伝** 布施梅治著  
布施辰治は自由法曹団の中心的団員として断崖に抗して精力的活動をした。本書は息子による伝記。  
B 6判 296頁 ¥1,200 [未来社]

紀伊国屋新書  
**労働者自主管理** 岩田昌征著  
ユーゴにおける労働者自主管理の理念と実践を探り、ソ連型の国権主義からの脱皮の可能性を展望。  
新書判 248頁 ¥400 [紀伊国屋書店]

有斐閣双書  
**少年保護論** 山口 透編  
社会学、心理学、医学、教育学、社会福祉論の第一線の研究者による少年非行の総合的アプローチ。  
B 6判 314頁 ¥1,000 [有斐閣]

有斐閣選書  
**昭和恐慌** 隅谷三喜男編  
関東大震災から昭和恐慌に至るまでの経済社会の動向と、同時代の国民階層の思想と行動を分析。  
四六判 378頁 ¥1,100 [有斐閣]

有斐閣双書  
**社会人類学** 蒲生正男編  
吉田禎吾編  
未開社会を主要な研究対象とする社会人類学の最新の成果を簡潔に体系づけた、興味深いテキスト。  
B 6判 194頁 ¥720 [有斐閣]

**社会主義建設の理論と実際** 副島種典著  
社会主義建設の現実的課題を理論的に解明し、その実際と今後の問題点を究明する。  
A 5判 230頁 ¥2,000 [青木書房]

**金芝河詩集** 姜 舜訳  
韓国の抵抗詩人金芝河の最新長編詩「民衆の声」をはじめ「黄土」「蜚語」「五賊」の外戯曲「銅の李舜臣」を収録。  
小B 6判 300頁 ¥800 [青木書房]

社会学講座9巻  
**法社会学** 潮見俊隆編  
法社会学がとりくんできた課題とその研究水準を解明し、法社会学の発展可能性をさぐる。  
A 5判 280頁 ¥1,200 [東京大学出版会]

仲村優一・一番ヶ瀬康子編  
重田信一・吉田久一編  
**社会福祉辞典**  
本辞典は大きく揺れ動く社会福祉の全領域を包み込んで、最新の用語まで漏れなく網羅し解説した  
B 6判 494頁 ¥3,000 [誠信書房]

T・パーソンズ著  
新明正道監訳  
**政治と社会構造(下)**  
現在アメリカ社会学界で最高の権威と目されている、パーソンズの政治社会学的諸論文を集大成。  
A 5判 366頁 ¥3,800 [誠信書房]

G・E・モス著  
中川米造訳  
**病氣と免疫の社会学**  
ストレス図式、因果論、心身二元論の検討を通して、転換期の現代医学に新たな展望を開示する。  
四六判 424頁 ¥1,900 [紀伊国屋書店]

日本の海洋民 宮本常一編  
川添 登編

古代から近世に至るまでの日本人と海との多彩なかつ深いつながりを多数の専門家が描く好読物。

B 6判 238頁 1,200 [未来社]

宮本常一著作集第17巻

宝島民俗誌・見島の漁村 宮本常一著

本土文化と琉球文化の接する地宝島の戦前の民俗記録と山口の見島の漁業と村落構造を調査報告。

B 6判 330頁 1,500 [未来社]

第十巻

菅江真澄全集 内田武志編  
宮本常一編

本巻は「筆のまにまに」、「さくらかり」等随筆10篇を収録した真澄研究のうえでも興味深い巻。

A 5判 550頁 4,500 [未来社]

流木ミクロネシアの孤島にて 土方久力著

昭和6年にミクロネシアのサトワヌ島に渡った画家であり文化人類学者である著者の島の生活誌。

四六判 358頁 1,600 [未来社]

日本の民話54巻

土佐の民話第二集 市原麟一郎編

南国の明るい風土と陽気で楽天的な土佐人気がとが生み出す哄笑・微笑をよびおこす民話の世界。

A 5判 290頁 950 [未来社]

続・反原爆 石田 忠編

〔長崎被爆者の生活史〕正篇に続き社会学者グループの共同作業により被爆者の戦後史を発掘。

B 6判 270頁 1,200 [未来社]

朝鮮革命博物館 上巻 朝鮮革命博物館  
写真編集委員会編

キム・イルソン主席の指導の下に朝鮮人民が抗日民主闘争を経て祖国解放に至る道を写真で示す。

A 4判 252頁 7,500 [未来社]

専修大学社会科学年報第8号

日雇労働者 専修大学社会  
科学研究所編

〔山谷の生活と労働〕その生活と労働、彼らの社会構成にはじめて社会科学のメスを入れた研究

A 5判 310頁 2,000 [未来社]

社会学講義 E・デュルケム著  
宮島喬・川喜多喬訳

社会学的視点に立って、近代産業社会の構造の解明と、その再組織化のための課題を提示する

A 5判 280頁 2,800 [みすず書房]

叢書ユニベルシタス

第三帝国の言語<LTI>

—ある言語学者のノート—

V・クレムペラー著

羽田洋・藤平浩之・赤井慧爾・中村之保訳

ナチズムの大衆操作の言語=LTIを、ユダヤ人言語学者が、受難と逃亡の日々の中で克明に綴る。

四六判 448頁 2,400 [法政大学出版局]

りぶらり選書

戦争の女神ペローナ ロジュ・カイヨウ著  
秋枝茂夫訳

戦争の仕組と理論を国家の発達との関連性において追求、精神の奥底に潜む戦争礼讃の信仰を探る。

四六判 300頁 1,600 [法政大学出版局]

機密漏洩事件 J・メジャー著  
中山善之訳

水爆に関する国家の機密を漏洩した疑いがあるとして聴聞会にかけられたオッペンハイマー。

B 6判 390頁 1,000 [平凡社]

コンビナートの労働と社会 中岡哲郎著

相次ぐ爆発事故の背後にいかなる生産と組織が存在するのか。鹿島コンビナートの変貌を克明に分析する。

四六判 230頁 700 [平凡社]

日中関係史の基礎知識 河原 宏編  
藤井昇三編

幕末・維新时期から現代までの日中関係・日中交渉の歩みを、政治、経済、思想等に互り総合的に解説。

A 5判 474頁 1,300 [有斐閣]

型の文化再興 安田 武著

失なわれた伝統と庶民の生活領域を幅ひろく渉猟し、深い理解をもってその機微を解き明かす

四六判 240頁 1,200 [筑摩書房]

新聞記者として 内藤国夫著

激動の十年を記者の現場から、知られざる内幕も描き興味津々の現代日本の断面を示す回想記

四六判 292頁 980 [筑摩書房]

賤民の後裔 北原泰作著

波瀾に富んだ半生とともに、故なき差別の実体解放運動の精緻な記録を明らかにする現代史。

四六判 352頁 1,200 [筑摩書房]

**日本に就て** 吉田健一著  
日本の政治に関する卓越した発言集。独特の論理、感性にとき澄まされた文章で綴るエッセイ集。  
四六判 230頁 円1,500 [筑摩書房]

りぶらりあ選書

**戦争論** ロジェ・カイヨワ著 秋枝茂夫訳  
戦争の形態と理論を史的に辿りつつ、この根源的諸力からの真の解放と人間の回復とは何かを提示。  
四六判 310頁 円1,600 [法政大学出版局]

**地方自治法の根本問題** 和田静夫著  
地方自治のあり方を現在の住民参加の実態とあわせ、法制上の観点より論ずる。詳細な資料を付す。  
A 5判 256頁 円1,500 [福村出版]

**日本政治学文献目録No.9(1973)**  
日本政治学会編  
昨年1ケ年の間に発行、発刊された、政治学に関連するあらゆる文献を網羅した目録。  
A 5判 100頁 円1,000 [福村出版]

**日本のシャマニズム上巻** 桜井徳太郎著  
一民間巫女の伝承と生態—その実態を完全に分析、人類・民俗・歴史・宗教・社会学に貴重な資料を提供する。  
A 5判 648頁 円5,800 [吉川弘文館]

政治の世界④巻

**官僚制** M・アルブロウ著 君村昌訳  
近代化の源動力となった官僚制を生み出した政治思想の様相を明らかにした政治思想入門の書  
四六判 228頁 円1,400 [福村出版]

**民俗調査ハンドブック** 宮田登ほか編  
民俗事象を客観的に把握できる民俗誌の作成を可能とする調査方法を提示する民俗調査の指導書。  
四六判 320頁 円1,300 [吉川弘文館]

**ヌナーガ** D・ブライド著 岡田宏明訳  
カナダエスキモーと十年間共に暮らした者しか書けない、エスキモーの生活と心の記録。  
B 6判 368頁 円980 [平凡社]

平凡社の選書

**忘却について** 木下順二著  
現在私達が忘れかけている戦争責任の問題、人間の心の問題を追求した最新エッセイ。  
四六判 320頁 円1,000 [平凡社]

**世界連邦** 田中正明著  
人類の願ひである戦争の廃絶を旨とした、世界連邦の思想と行動の歴史を示す貴重な本。  
四六判 320頁 円1,200 [平凡社]

**明るい夜暗い昼** E・ギンスブルグ著 中田甫訳  
ソ連のスターリンの圧政のもと、収容所の中で常に希望を失なわなかった女性の記録。  
B 6判 380頁 円1,200 [平凡社]

ジュイスト臨時増刊

**特集 福祉問題の焦点**  
現代福祉の総論的問題点、生活保護、児童福祉心身障害者、老人福祉などの重点テーマを全収録。  
B 5判 410頁 円1,000 [有斐閣]

有斐閣双書

**非行—補導と矯正教育** 平尾靖編  
非行少年に対する施設内処遇、特に少年院の矯正教育に焦点をあて、非行対策の問題点を明示した。  
B 6判 258頁 円1,000 [有斐閣]

有斐閣双書

**社会統計学** 武藤真介著  
社会学・政治学系の学生を主な対象として調査・分析に必要な統計の基礎知識を平易に解説。  
B 6判 234頁 円1,000 [有斐閣]

**公害概論** 木宮高彦著  
法律問題を軸として、公害に関するあらゆる知識・情報を体系的に整理・解説したハンドブック。  
A 5判 568頁 円1,900 [有斐閣]

**近代日本経営史の基礎知識**  
中川敏一郎・森川英正・由井常彦編  
維新から現代までの百年の日本資本主義の歩みを、企業家たちの活動を通じて生き生きと語る  
A 5判 500頁 円1,700 [有斐閣]

有斐閣双書

**児童福祉論** 一番ヶ瀬康子編  
児童福祉の歴史・対象領域・政策論などの理論的テーマとわが国の現状・課題を扱う好テキスト。  
B 6判 228頁 円900 [有斐閣]

**民俗調査ハンドブック** 上野・高桑編 宮田・福田  
民俗事象を客観的に把握できる民俗誌の作成を可能とする調査方法を提示するハンドブックである。  
四六判 320頁 円1,300 [吉川弘文館]

社会行動の數理解析

**態度変容モデル** J・S・コールマン著  
西田春彦訳  
世論調査などの反応不確定性を動的に解析した  
本書は、広く社会学関係者の必読書といえよう  
A 5判 155頁 ¥2,200 [紀伊国屋書店]

社会行動の數理解析

**グラフ理論と社会構造** C・フランマン著  
山本國雄訳  
コミュニケーション、社会構造論にグラフ理論  
を応用して、人間の科学に新しい展望を開示す  
る。  
A 5判 170頁 ¥2,200 [紀伊国屋書店]

## 評 論

**アントン・ウェーベルン**

—その音楽を享受するために—

竹内豊治編著  
現代の新音楽を唱導したウェーベルン理解のた  
めにその講演と手紙、更にアドルノの論考を取  
める。  
四六判 184頁 ¥1,400 [法政大学出版局]

筑摩叢書

**文芸評論(下)** 小林秀雄著  
「様々なる意匠」から「現代文学の診断」まで  
の文芸時評関係の全論考を上下2冊に収める。  
四六判 368頁 1,300 [筑摩書房]

新装版

**もう一つの修羅** 花田清輝著  
著者が初めて歴史の激動期の人間に題材をとり  
現在と過去を複眼的にとらえて見せた評論集。  
菊判・変基判 232頁 ¥1,300 [筑摩書房]

**文学回想 憂しと見し世** 中村光夫著  
文学的な歩みを文芸誌の動きを辿りながら、戦  
時下の文化人たちの姿を浮彫りにしながら描く  
四六判 220頁 ¥1,300 [筑摩書房]

**ボンジュ人・語・物** 阿部良雄著  
言葉による世界創造を初めからやり直そうとす  
る詩人ボンジュの全貌を明らかにした異色の論  
集。  
A 5判 260頁 ¥3,800 [筑摩書房]

**蘆花徳富健次郎** 第三部 中野好夫著  
貫かれた反骨とヒューマンな人間理解にたった  
蘆花評伝の傑作。明治43年～昭和2年の臨終ま  
でを描く。  
四六判 500頁 ¥1,900 [筑摩書房]

**デザイン夜講** 粟津 潔著  
デザインの根源としての浮世絵、本物と複製の  
問題、デザインに囲まれた現代と人間について  
論ず。  
四六判 268頁 ¥980 [筑摩書房]

筑摩叢書212  
**英国の近代文学** 吉田健一著  
16人の現代英国文学を荷なった詩人批評家、作  
家を論じた卓越した近代英国文学論。  
四六判 304頁 ¥1,400 [筑摩書房]

**檜の山のうたびと** 松下竜一著  
明石海人と並ぶ著名な歌人伊藤保の生涯を、作  
家の眼で描く話題の伝記小説。  
四六判 296頁 ¥1,500 [筑摩書房]

**遊びと日本人** 多田道太郎著  
日本人の具体的な遊びの事例から説き起こして  
日本文化の根源への考察にいたるユニークな論  
集。  
四六判 248頁 ¥980 [筑摩書房]

吉本隆明全著作集15  
**初期作品集**  
『初期ノート増補版』を底本に新資料「北村透谷  
小論」〔現代詩の情況〕の断片三章を加える。  
四六判 514頁 ¥1,500 [草草書房]

**世界映画の作家と作風(2)** 津村秀夫著  
カザン、小津安二郎、クレマンらの監督論を中  
心に、洗練された文体と豊かな映画経験からの  
映画論。  
四六判 288頁 ¥2,000 [草草書房]

**岩本素白全集 第一巻** 岩本素白著  
陋巷の散歩を楽しみ、名も無い寒駅を訪ねて、  
珠玉の文章を残した著者の代表的隨筆集。  
四六判 296頁 ¥1,500 [春秋社]

講座・現代の医療全5巻  
川上 武編  
**講座・現代の医療** 中川米造編  
本講座は医療関係者と市民・患者との間にある  
諸問題、医療制度の諸矛盾の実態を体系的に解  
明。  
B 6判 平均300頁 ¥各1,000 [日本評論社]

日本語の発見Ⅱ  
**きくとよむ** 山本安英の会編  
美しい日本語の創造、確立をめざしてユニーク  
な活動をつづけている山本安英の会による共同  
研究。  
A 5判 280頁 ¥1,800 [未来社]

**木下順二評論集5** 全10巻 木下順二著  
第5巻(1958年～1959年)にはドラマの本質に迫った諸論考、モスクワ芸術座の来演をめぐる感想等。  
B 6判 310頁 ¥1,600 [未來社]

**歌舞伎の演技** 中村翫右衛門著  
歌舞伎の演技に不可欠な日本舞踊・浄瑠璃等の基礎訓練を自伝的に探求し具体的に論じた演技論。  
B 6判 230頁 ¥1,000 [未來社]

**築地小劇場** 菅井幸雄著  
今年創立50周年を迎えた築地小劇場——その反体制運動の拠点としての歩みを多角的に追求する。  
B 6判 184頁 ¥800 [未來社]

吉本隆明全著作集15  
**初期作品集(第14回配本)** 吉本隆明著  
試行出版部刊『初期ノート増補版』を底本に、最近発見した「北村透谷小論」など断片三章を収録。  
四六判 512頁 ¥1,500 [勁草書房]

**わが体験的政治論** 田 英夫著  
一回会からの証言—ジャーナリストとしての複眼的な見方によって、日本の権力構造を明かす  
B 6判 224頁 ¥750 [社会思想社]

**源氏物語の研究** 阿部秋生編  
源氏物語についてそれぞれ著者たちが、より基本的なテーマをとり上げ、存分に論じた論集。  
A 5判 320頁 ¥2,800 [東京大学出版会]

紀伊国屋現代文芸評論叢書  
**小説のテクスト** J・リカルドゥー著 野村英夫訳  
小説の技巧が秘められたものを言語の本質的問題として大胆かつ精微に論述した『言葉と小説』の続編。  
四六判 392頁 ¥1,900 [紀伊国屋書店]

**女形の運命** 渡辺 保著  
女形という虚構の性の意味を、歴史的に、又舞台空間の現場体験に基づいて探求した芸術論。  
四六判 260頁 ¥1,400 [紀伊国屋書店]

**西洋文学の移入** 柳田 泉著  
幕末の蘭学から次第に盛んになったヨーロッパ文学移入の経緯を実証的に解明した貴重な文献集成。  
A 5判 320頁 ¥3,500 [春秋社]

**美の悲劇** ヴォルフィンスキー著 大島かおり訳  
ドストエフスキ「白痴」研究 ロシアの人間のみが行ないうる内的な、熱のこもった評論集である。  
B 6判 170頁 ¥950 [みすず書房]

**野にあそぶ** 斎藤たま著  
笹舟、麦笛、柿の葉の人形等野の草、木の実を使ったなつかしい遊び二百余种を紹介。  
四六判 392頁 ¥1,200 [平凡社]

**人生診断記** アクセル・ムンテ著 宋永時恵訳  
スウェーデンの名医がユーモアと真実をこめて語る珠玉の人生診断。サン・ミケール物語の姉妹編。  
四六判 176頁 ¥予価900 [紀伊国屋書店]

**サン・ミケール物語** アクセル・ムンテ著 久保 文訳  
奇談に満ちた独身の名医ムンテの破格の一代記  
欧米で50年近く愛読される名作の増補改訂新版  
四六判 396頁 ¥予価1,800 [紀伊国屋書店]

**舞踊の歴史** 石福恒雄著  
踊ることの意味と感動を、人間の宇宙に対する位置のとり方、存在の仕方、葛藤の中に探る。  
A 5判 212頁 ¥2,400 [紀伊国屋書店]

新・国語教育シリーズ10巻  
**論理的思考を高める表現指導**  
小林喜三男・荒木 茂編  
討論指導を中心に知的言語の能力高め実践してきた話教研15年の共同研究の成果。  
四六判 240頁 ¥1,200 [春秋社]

翻訳シリーズ  
**人間の教育** J・ブルーナー著 佐藤三郎訳  
認知の理論を教授・学習に結びつけ、特に幼児期の特徴と教育を論じ日本における講演を収録す。  
B 6判 280頁 ¥2,000 [誠信書房]

## 歴史

人物叢書171巻  
**勝海舟** 石井 孝著  
機略縦横・幕藩の障壁を撤した改革勢力の全国的連合にその全精力をもやした海舟の生涯を描く。  
小B 6判 296頁 ¥880 [吉川弘文館]

日本歴史叢書34

**日本考古学史** 斎藤 忠著

複雑多彩に発達した日本考古学を江戸前期より現代まで精確に展望し体系的にまとめた画期的な著作。

四六判 385頁 ¥1,800 [吉川弘文館]

**研究史広開土王碑** 佐伯有清著

その碑文は日本古代史・日朝関係史に不可欠の史料だが重大な未解決の問題点である多くのナゾを探る。

四六判 326頁 ¥1,300 [吉川弘文館]

くのみやつこ

**研究史 国造** 新野直吉著

国造の成立から分布・機能・変遷・終末まで関係研究を網羅総括。律令国造にも論及類例なき研究年表附。

四六判 266頁 ¥1,100 [吉川弘文館]

全13巻

**明治天皇紀第十** 宮内省臨時  
帝室編修局編

本書は天皇の伝記であると同時に政治を中心とした編年体の明治史であり研究者必備の書である。

菊判 964頁 ¥6,700 [吉川弘文館]

第II期全24巻

**日本隨筆大成** 9, 10, 11, 12, 13, 14,

日本隨筆大成編集部編

広汎多彩な江戸時代の隨筆集、歴史研究の重要ヒント貴重な史料集、新組新解題付毎月2冊配本中。

四六判 平均450頁 ¥各1,800 [吉川弘文館]

**釈日本紀(二套)** 尊経閣文庫編刊

前田育徳会所蔵古写本<重要文化財>の複製、影印二十九冊解説索引 一冊特価¥280,000 ¥300,000 [吉川弘文館]

**平安初期彫刻史の研究** 久野 健著

全国に分布する平安初期の彫刻を網羅的に大基図版で紹介。類書なく美術史研究者必備の書。

菊判 880頁 ¥43,000 [吉川弘文館]

**明治天皇紀 第十** 宮内省臨時帝室編修局編

自明治34年至明治37年、戦後初めて公刊された貴重な明治の歴史を描く資料集(既刊第一〜第九)

菊判 964頁 ¥6,500 [吉川弘文館]

**キリシタン研究 第十五輯**

キリシタン文化研究会編

本輯はゲオルク・シュールハンマー師の邦訳著述目録歴史研究功績を中心に特集キリシタン論考を収録。

A 5判 366頁 ¥5,000 [吉川弘文館]

**日本古代地方制度の研究** 新野直吉著

氏姓時代、律令時代、律令制後期の地方制度の諸問題にわたり広く地方制度史を論ずる研究書。

A 5判 550頁 ¥5,000 [吉川弘文館]

**九州地方中世編年文書目録** 瀬野精一郎編

鎌倉時代篇南北朝時代篇。収録文書数約13,000通。九川地方中世文書の戸籍台帳の完成である

A 5判 560頁 各¥2,800 [吉川弘文館]

**近世宿駅の基礎的研究 第一・第二**

丸山雍成著

交通史・政治史・法制史的各観点から総合的有機的に基礎研究を行った近世宿駅史の総合業績の成果。

A 5判 1,986頁 (一)¥9,800 (二)¥8,200 [吉川弘文館]

**日本における政治と宗教** 笠原一男編

政治権力と仏教との関係は統制・保護・弾圧の形で進んできた。その過程を歴史的にとらえて論究する。

A 5判 400頁 ¥4,800 [吉川弘文館]

**近世史学思想史研究** 小沢栄一著

儒教史学特有の諸論や重要諸問題と史学史的に分析し位置づけ系統づけた近世歴史思想の研究書。

A 5判 550頁 ¥6,500 [吉川弘文館]

**岡倉天心** 一 アジア文化宣揚の先駆者一

堀岡弥寿子著

フェノロサ、ビゲロー、ガードナー夫人らの文献書簡を通じて克明かつ実証的に天心像を描出した。

四六判 240頁 ¥1,800 [吉川弘文館]

服部之總全集 第19巻

**日本帝国主義論** 奈良本辰也編

昭和初期を中心に日本帝国主義に関する論文を収録。「日本ファシズムの特質の問題」他。

四六判 328頁 ¥2,000 [福村出版]

服部之總全集第18巻

**明治の指導者Ⅱ** 奈良本辰也編

原敬、大隈重信、山県有朋、幣原喜重郎等を17巻に引きつづき収録し、明治時代にスポットを当る。

四六判 304頁 1,800 〔福村出版〕

服部之總全集第17巻

**明治の指導者Ⅰ** 奈良本辰也編

陸奥宗光、星亨、伊藤博文、板垣退助等の明治の群像を描き、好評を博したエッセイを収める

四六判 248頁 1,800 〔福村出版〕

服部之總全集第16巻

**近代日本のなりたち** 奈良本辰也編

「近代日本のなりたち」「封建社会」等、数多くある彼の近代化と歴史とのかわりを論じた巻。

四六判 296頁 1,800 〔福村出版〕

服部之總全集第15巻

**文学と宗教** 奈良本辰也編

歴史と文学の親近性に目をむけた著者の独特な史観が縦横に発掘される諸エッセイを収める。

四六判 260頁 1,800 〔福村出版〕

服部之總全集第14巻

**蓮如** 奈良本辰也編

「親鸞」に犀利な筆をふるった著者が、本書では蓮如に向かい、鋭い歴史眼をはたらかせる。

四六判 264頁 1,800 〔福村出版〕

人間解放の人びと

**ルーサー・キング** H・ジュルボオ著 山村嘉己訳

キング牧師の勇氣に満ちた感動的な生涯を、イメージ豊かに描き出し、人種差別の非を訴える

四六判 192頁 1,200 〔福村出版〕

業書スヴェラージュ

**軍国主義の歴史Ⅳ** A・フアーフツ著 望田幸男訳

1973年以後の軍国主義化 現代における軍国主義の相貌を明確に位置づける。全4冊完結。

四六判 224頁 1,500 〔福村出版〕

只書スヴェラージュ

**ヨーロッパのファシズム上・下**

S・J・ウルフ編 斉藤孝監訳

ヨーロッパ各国におけるファシズムの抬頭と崩壊の歴史を克明に記述した名著の誉高い書物である。

四六判 256・248頁 1,600 〔福村出版〕

新撰日本古典文庫1

**承久記** 松林靖明校注

鎌倉幕府執権政治の初頭、承久三年(1221)に起った承久の亂の顛末を記す軍記物語。附・別冊A 5判 234頁 2,800 〔現代思潮社〕

古典文庫51

**ローマ皇帝伝 上** スウェートーニウス著 角南一郎訳

初代皇帝カエサルやアウグストゥスなど12皇帝の美德、犯罪、性格を丹念に描いた興味ある作品。

B 6判 206頁 1,400 〔現代思潮社〕

ものと人間の文化史

**機械** 吉田光邦著

日本技術史の総体的視野の下に初期における機械と技術の形づくられるみちすじを克明にたどる。

四六判 26頁 1,200 〔法政大学出版局〕

教養選書(28)

**回想のヴィトゲンシュタイン**

N・マルコム他著 藤本隆志訳

ラッセル、マルコムら友人・同時代人達が語る今世紀最大の哲学者ヴィトゲンシュタインの素顔。

四六判 204頁 850 〔法政大学出版局〕

ものと人間の文化史

**狩猟伝承** 千葉徳爾著

獣とこれを追う狩人の世界を描き、感謝と慰霊の儀式を伴う人獣交渉の古くも豊かな文化を考察。

四六判 350頁 1,300 〔法政大学出版局〕

**明治維新草莽運動史** 高木俊輔著

尊王攘夷運動を中心に草莽の軌跡を発掘した明治維新論。1500名からなる諸隊名簿を付す。

A 5判 448頁 4,500 〔勁草書房〕

**中国共産党史資料集第10巻**

日本国際問題研究所中国部会編 独のポーランド侵入、日米開戦、国共対立など激動する内外情勢のなかにおける資料87篇を収録。

A 5判 732頁 5,000 〔勁草書房〕

古島敏雄著作集4巻

**信州中馬の研究** 古島敏雄著

中馬という駄賃稼ぎを、旧飯田町史料と中馬塚村方の史料で分析し専門輸送業への過程を解明する。

A 5判 420頁 3,000 〔東京大学出版会〕

**平安人物志** 山中 裕著

摂関期の特徴を、その貴族階層の間人像(道長、兼家、敦康、敦明)を通じて解明する。

A 5判 260頁 ¥2,800 [東京大学出版会]

古島敏雄著作集2巻

**日本封建農業史**

**家族形態と農業の発達** 古島敏雄著

わが国農業史の通史的概説として、ともに日本封建農業史研究上画期的労作。

A 5判 371頁 ¥3,000 [東京大学出版会]

**戦国社会史論** 藤本久志著

本書は戦国の社会がいかなる階級関係・吸取体系下にある、いかなる法体系に規制されたか等解明。

A 5判 430頁 ¥3,200 [東京大学出版会]

古島敏雄著作集3巻

**近世日本農業の構造** 古島敏雄著

本書は、農民層の構成と家族の形態、共同体的土地慣行、技術的様相などを解明する。

A 5判 600頁 ¥3,500 [東京大学出版会]

**フランス現代史上** エレンスタイン著 杉江栄一・安藤隆之訳

人民戦線成立から現在にいたる激動期フランスの歴史の諸事件を究明するユニークな現代史。

四六判 256頁 ¥1,500 [青木書店]

**フランス現代史下** エレンスタイン著 杉江栄一・安藤隆之訳

第二次大戦の終結から、戦後の第四共和制とドゴール登国にいたる今日のフランス研究。

四六判 260頁 ¥1,500 [青木書店]

江口朴郎著作集一巻

**歴史学の課題と理論** 遠山茂樹外編

現代世界史研究の開拓者、指導者である著者の理論を集大成。第一巻は方法論、歴史理論編。

四六判 280頁 ¥2,200 [青木書店]

ツヴァイク全集21巻

**時代の世界** 猿田 恵訳

詩人・文学者・音楽家などについて、そしてそれらの文化的土壌について描くすぐれたエッセイ集。

小B 6判 350頁 ¥1,200 [みすず書房]

ツヴァイク全集10巻

**ジョゼフ・フォーシェ** 吉田正己・小野寺和夫・飯塚信雄訳

フランス革命、ナポレオン帝政、ルイ王朝の復讐と、変転する歴史の流れを生きたフォーシェの伝記。

小B 6判 378頁 ¥1,200 [みすず書房]

**政論雑筆** 小島祐馬著 内田智雄解説

古代中国研究、儒家思想によって培われた社会観を基に、現代の社会と政治、及び中江兆民を語る。

B 6判 237頁 ¥2,000 [みすず書房]

**イギリス史(2)** トレヴェリアン著 大野真弓訳

ルネサンス、宗教改革をへてエリザベス朝の盛時を迎えるイギリスの偉大な創造的時期をえがく。

A 5判 242頁 ¥2,800 [みすず書房]

現代史資料44巻

**国家総動員2** 今井清一編 伊藤 隆

新党計画案、近衛の声明文案、大政翼賛会の性格をめぐる意見など、当時の政治過程の資料的展望。

A 5判 678頁 ¥7,000 [みすず書房]

ツヴァイク全集8巻

**三人の巨匠** 柴田・小川訳 神品・渡辺訳

バルザック、ディケンズ、ドストエフスキーという三大小説家を対象としたユニークな評伝である。

小A 6判 390頁 ¥1,200 [みすず書房]

**シモーヌ・ヴェイユ** ジャック・カポー著 山崎庸一郎・中条忍訳

最良の伝記という評価を得た本書は、膨大な資料にもとづき、ヴェイユの生きた真実の姿を伝える。

四六判 560頁 予価¥3,500 [みすず書房]

社会科学ゼミナール58巻

**ロシア新聞史** エーシン著 阿部幸男・阿部玄治訳

革命前ロシアの新聞の民主主義的・進歩的傾向に視点を定め、黎明期ソ連の新聞界の活動を解明。

B 6判 198頁 ¥750 [未来社]

**謎の古代文明** チャールズ・ベルリッツ著 小江敏雄・小林 茂訳

最新の考古学と天文・地質・言語学や東西の古典を駆使して古代文明の实在と驚異を鮮やかに描く。

四六判 294頁 ¥1,800 [紀伊国屋書店]

UP選書133巻

**フィールドワークの思想** 大野盛雄著

農民との心理的な葛藤、調査・被調査者との関係を重視し、イスラムの風土と農民像を浮彫りする。

四六判 200頁 ¥800 [東京大学出版会]

古島敏雄著作集1巻

**賦役労働制の崩壊過程** 古島敏雄著  
賦役提供をともなう特殊小作制度として、長野県伊那地方にみられる被官百姓の姿を明らかにする。

A 5判 320頁 ¥3,000 [東京大学出版会]

**世界の灌漑** 福田仁志著

著者の永年の経験にもとづき、極めて地域性を重視しながら、灌漑排水理論への帰納を試みる

A 5判 480頁 ¥4,000 [東京大学出版会]

**東洋外交史 下** 植田捷雄著

日・中両国の近代化過程を背景に両国の外交史を有機的・総合的に把握した学会有望の決定版

A 5判 200頁 ¥950 [東京大学出版会]

一卷

**現代歴史学の成果と課題** 歴史学研究会編  
近年の歴史学研究の全面的な総括を通じ、新たな課題と方向を提示する。一卷歴史理論編(全四巻)

A 5判 200頁 ¥1,200 [青木書店]

二巻

**現代歴史学の成果と課題** 歴史学研究会編  
共同体、奴隸制、封建制、に関する最近の研究成果と、新たな課題と方向を提示する共同労作

A 5判 200頁 ¥1,200 [青木書店]

**日本の近代化と民衆意識** 安丸良夫著

士族反乱、村方騒動、世直し一揆の分析を民衆の意識変化を通じ解明する日本近代史研究入門

A 5判 300頁 2,500 [青木書店]

ツヴァイク全集10巻

**三人の自伝作家** 吉田正己・中田美喜著  
カザノヴァ、スタンダール、トルストイ三人の

〈自伝作家たち〉の生涯と人間像を独自に描く。

小B 6判 411頁 ¥1,200 [みすず書房]

**沖縄文化研究 1** 法政大学沖縄文化研究所編

中村哲「琉球王国形成の思想」小野重朗「アラシツ・シバサシ小論」矢野輝雄「沖縄芸能史概説」他

四六判 304頁 ¥1,600 [法政大学出版局]

森嘉兵衛著作集第7巻

**南部藩百姓一揆の研究** 森嘉兵衛著

近世全期の南部・八戸両藩の一揆・米騒動を網羅し、藩政と社会経済情勢の特質を鋭く剔出する。

A 5判 600頁 定価6,500 [法政大学出版局]  
特価5,800  
(期間12月末まで)

**中国革命の嵐の中で** 中西功 著

中国問題の研究家として、すぐれた業績をのこした中西功の波乱にとむ自伝回想記。

四六判 298頁 ¥1,500 [青木書店]

**古代史の謎** 松本清張他編

水野祐、和歌森太郎、井上光貞氏との対談を通じ、日本古代史の謎に挑むユニークな古代史入門。

四六判 280頁 ¥950 [青木書店]

## 後記

わたしたちをとりまく出版業界の情勢は、めまぐるしく変転し本年も暮れようとしています。出版業界にも経済情勢の推移に明るい見通しのないままに新年を迎えようとしています。

それはしかしきびしい販売面の情勢を真剣に検討するよいチャンスでもありますので、本号では特に人文図書の仕入販売について書店のかたがたから多角的に論じていただきました。出版社と書店のみなさまのご参考になる内容だと考えます。

本会発足いらいの懸案でありました「人文会特約店」の具体化が成りました。今後とも「人文会特約店」とより密接な関係をもった、弘報会動を推進して参りますのでご期待下さい。

「人文会ニュース」第6号の発行が担当社理想社の不慮の事故により、遅延いたしましたことをみなさまがたに深くお詫びいたします。（弘報委員会I）

タルホスコープ……稲垣足穂著

中々 マキニカリス

桃色のハンカチ

彼等 — they —

弥勒

● 11月下旬刊

裏切られた革命

トロッキー / 対馬忠行他訳

東京都文京区小日向1-24  
振替・東京724422 現代思潮社

1600

1500

1200

1200

1500

V.クレムペラー  
**第三帝国の言語**  
 <LTI>

—ある言語学者のノート—  
 羽田洋・藤平浩之・赤井憲爾・中村元保訳  
 ヒトラー体制下において、あらゆる報道機  
 関から繰返し放たれた大衆操作の言語=L  
 T I。人々を戦争への道に駆り立てたこの  
 恐るべき言語を、ユダヤ人言語学者が、  
 受難と逃亡の日々のなかで克明に記録する  
 ●叢書・ユニベルシタス / 四六判・2400円

法政大学出版局 東京都港区南麻布2-8-4  
 〒106 / 振替・東京95814

**診断・日本人**

宮本忠雄編

一三〇〇円

田中正造、乃木希典、内村鑑三、出口  
 王仁三郎、河上肇、石川啄木、太宰治  
 三島由紀夫など二六人の人物に、精神  
 医学の鋭い照射を投じ、彼らの優れた  
 業績の背後にひそむ近代日本の狂気を  
 追求していくユニークな読物で「から  
 だの科学」に連載好評を博したものだ。

**日本評論社**

東京新宿須賀町  
 振替・東京16番

J・カポー 山崎庸一郎・中条忍訳  
**シモーヌ・ヴェーユ**

—その生涯と経験—

すぐれた素質をもつ意識のドラマともい  
 べきシモーヌ・ヴェーユの思想は、その政  
 治的・社会的実践行動と分ちがたく結びつ  
 いている。現代を支配する官僚主義の脅威  
 に抵抗しつつ生きた三十四年の体験と思索  
 の過程は、そのまま彼女の内面の発展の跡  
 を示すであろう。未発表のものを含む膨大  
 な資料にもとづいた叙述によって真実の姿  
 と思想の全体像を描き、最良のシモーヌ・  
 ヴェーユ伝と評価された名著。予価3000円

東京都文京区本郷3 **みすず書房**

C・ウィルソン / 中村保男・中村正明訳  
**実存主義を  
 超えて**

〈叢書ヌヴェラージュ〉

サルトル等の実存主義を再検討し、  
 新たな思想を探る ¥1500

L・アルチュセール / 西川長夫訳

**歴史・階級・人間**

—ジョン・ルイスへの回答—

歴史における主体を動的構造の中  
 での人間におく新マルクス主義

〈叢書ヌヴェラージュ〉¥1400

東京都文京区本郷4-23  
 振替・東京78313 **福村出版**

もろさわ ようこ著  
**おんな・部落・沖繩**

女性史をとおして

**未来社**  
 東京都文京小石川3の7

本書は、新しいおんなたちの差  
 別へのたたかいの地点にたつて  
 女性解放への道を論じ、あわせ  
 て、部落・沖繩に内在する差別  
 と偏見の根源をみすえつつ書き  
 綴った最新エッセイ集である。  
 既刊II『信濃のおんな』『おん  
 なの歴史』『おんなの戦後史』  
 ●B6判並製カバー・九八〇円

**三品彰英論文集**

全6巻完結

- 1 日本神話論 2500円
- 2 建国神話の諸問題 2400円
- 3 神話と文化史 2600円
- 4 増補日鮮神話伝説の研究 2600円
- 5 古代祭政と穀霊信仰 3800円
- 6 新羅花郎の研究 3300円

東京都千代田区四番町  
 振替・東京29639 **平凡社**

歴史学研究会編集

全4冊

# 現代歴史学の成果と課題

六〇年代・七〇年代初頭における歴史学研究・歴史科学運動を全面的に総括し、各分野・各時代の研究成果のうえに、新たな課題と方向を提示する歴史学研究会の共同研究！

## 1 歴史理論・科学運動

太田秀通／芝原拓自／原秀三郎／星槿樟／土井正興／矢沢康祐ほか執筆 ￥1200

東京神田神保町一ノ六〇 青木書店

# 日本思想史の基礎知識

田村圓澄・黒田俊雄・相良亨・源了圓編

古代から維新まで 1600円

原始・古代から幕末 維新时期に至る千数百年間の日本の思想の流れを政治、社会、宗教、文学、美術など広い視野から多角的に検討し解説。

東京神田神保町2 有斐閣

# グラフ理論と社会構造

C.フラマン／山本國雄訳

社会科学の数学的表現は、問題と数学的構造との間に適切な同型を定義することによる、という構造主義的思想の下に、本書はグラフ理論の社会科学への応用を扱い、静的記述にのみ有用とみなされていたこの理論に動的科学への新たな可能性を開示する。予価二〇〇円

紀伊國屋書店

東京新宿3-17-7 振替東京125575

# 民俗調査ハンドブック

絶賛発売中

上野和男・高桑守史・福田アジオ・宮田登編  
民俗調査にあたり、どのような基礎作業が必要か。調査方法を懇切に提示した好著。四六判・三二〇頁／定価一三〇〇円

日記を兼ねる歴史知識の宝庫！  
歴史手帳 一九七五年版 定価五〇〇円

東京都文京区本郷七一二 吉川弘文館

■武谷三男現代論集——全7巻

# 2 核時代 小国主義と 大國主義

真に人類のための科学と平和の創造に、小国は如何に寄与すべきか  
〈解説〉長崎正幸 一六〇〇円

# 1 原子力 闘いの 歴史と哲学

安全性軽視の原子力発電開発を批判し、原子力問題の展望を拓く。  
〈解説〉藤本陽一 一六〇〇円

東京文京区後楽一三三 振替 東京一七五二五三 勁草書房

# ブルーメンベルク マルクス

浜井修・堤彪 共訳  
B6判変型 定価二二〇〇円

写真で読むロ・ロ・ロ伝記叢書  
今日なお巨大な影響力を持ちつづけるマルクス主義。その創始者カール・マルクスの神話化された伝記にたいし、マルクス主義の正当性を確認するためにこそ、あるがままの実像を描く。

理想社

東京都新宿区赤城下町46 振替東京78303

非売品